

官報

號外

昭和九年二月十六日

○第六十五回衆議院議事速記録第十三號

帝國議會

昭和九年二月十五日(木曜日)

午後一時九分開議

議事日程第十二號

昭和九年二月十五日

午後一時開議

第一 原蠶種管理法案(政府提出)

第一讀會

第二 健康保險法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第三 癩病院法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第四 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第五 會計検査院法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第六 民事訴訟法中改正法律案(竹下文隆君提出)

第一讀會

第七 民事訴訟法中改正法律案(風見章君提出)

第一讀會

第八 營業收益稅法中改正法律案(小林鑄君外二名提出)

第一讀會

第九 司法保護法案(小林鑄君外六名提出)

第一讀會

第十 民族優生保護法案(荒川五郎君外一名提出)

第一讀會

第十一 農村救濟負擔均衡法案(清瀬一郎君外四名提出)

第一讀會

第十二 計理士法中改正法律案(世耕弘一君外二名提出)

第一讀會

第十三 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(栗原彦三郎君外十二名提出)

第一讀會

第十四 百貨店法案(野田文一郎君外二名提出)

第一讀會

第十五 大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(野田文一郎君外二名提出)

第一讀會

第十六 衛生組合法案(中井一夫君外五名提出)

第一讀會

第十七 傳染病豫防法中改正法律案(中井一夫君外五名提出)

第一讀會

第十八 衛生組合法案(野田文一郎君提出)

第一讀會

第十九 傳染病豫防法中改正法律案(野田文一郎君提出)

第一讀會

第二十 衛生組合法案(福田關次郎君外二名提出)

第一讀會

第二十一 傳染病豫防法中改正法律案(福田關次郎君外二名提出)

第一讀會

第二十二 司法代書人法中改正法律案(立川平君外二名提出)

第一讀會

第二十三 司法代書人法中改正法律案(野田文一郎君提出)

第一讀會

第二十四 司法代書人法中改正法律案(斯波貞吉君外一名提出)

第一讀會

○議長(秋田清君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

旭川市舊土人保護地處分法案

(以上二月十五日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

借地借家調停法中改正法律案

提出者

牧野 賤男君

鳩山 秀夫君

松本 弘君

中井 一夫君

野村 嘉六君

作田高太郎君

藤田 若水君

小作調停法中改正法律案

提出者

牧野 賤男君

鳩山 秀夫君

松本 弘君

中井 一夫君

武富 濟君

作田高太郎君

原 夫次郎君

刑法中改正法律案

提出者

藤田 若水君

作田高太郎君

野村 嘉六君

武富 濟君

牧野 賤男君

松本 弘君

鳩山 秀夫君

刑事訴訟法中改正法律案

提出者

原 夫次郎君

作田高太郎君

一松 定吉君

藤田 若水君

熊谷 直太君

松本 弘君

鳩山 秀夫君

民事訴訟法中改正法律案

提出者

牧野 賤男君

鳩山 秀夫君

松本 弘君

中井 一夫君

野村 嘉六君

作田高太郎君

藤田 若水君

陪審法中改正法律案

提出者

牧野 賤男君

鳩山 秀夫君

松本 弘君

中井 一夫君

武富 濟君

一松 定吉君

作田高太郎君

原 夫次郎君

一松 定吉君

熊谷 直太君

磯部 尙君

宮古啓三郎君

中井 一夫君

橫山金太郎君

野村 嘉六君

武富 濟君

牧野 賤男君

磯部 尙君

宮古啓三郎君

中井 一夫君

熊谷 直太君

磯部 尙君

宮古啓三郎君

橫山金太郎君

武富 濟君

一松 定吉君

原 夫次郎君

熊谷 直太君

磯部 尙君

宮古啓三郎君

橫山金太郎君

野村 嘉六君

藤田 若水君

原 夫次郎君

建築士法案

提出者

多田 滿長君 手代木隆吉君
野村 嘉六君 増田 義一君
(以上二月十三日提出)

産業組合法中改正法律案

提出者

風見 章君
(以上二月十四日提出)

伏見港第二種重要港灣指定ニ關スル建議案

提出者

田中祐四郎君 川橋豐治郎君
中村三之丞君 福田關次郎君
膽澤川改修ニ關スル建議案

提出者

志賀和多利君
(以上二月十三日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

蠶絲業ニ關スル質問主意書

提出者

増田 金作君
藤澤町會議員選舉違反檢舉ニ際シ司法警察官ノ拷問事件ニ關スル質問主意書

提出者

平川松太郎君 小泉又次郎君
三宅 馨君 戸井 嘉作君
(以上二月十三日提出)

一去年三月三日齋藤内閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

社會局部長 富田愛次郎

同 川西 實三

第六十五回帝國議會內務省所管事務政府委員被仰付

商工書記官 岸 信介

第六十五回帝國議會商工省所管事務政府委員被仰付

一去年十三日常任委員理事補選結果左ノ如シ

建議委員

理事 伊藤皆次郎君(理事岡本一已君
本月八日委員辭任ニ付其ノ補

關)

一去年十三日辭任シタル常任委員左ノ如シ
第九部選出豫算委員 大島 寅吉君
第一部選出請願委員 小池 四郎君

一去年十三日特別委員理事補選結果左ノ如シ
會計検査院法中改正法律案(政府提出)委員

理事 豐田 豐吉君(理事中山福藏君
今十三日委員辭任ニ付其ノ補

關)
一去年十三日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
會計検査院法中改正法律案(政府提出)委員

辭任中山 福藏君 補關池田 秀雄君
地租法中改正法律案(松岡俊三君外四十

二名提出)外三件委員
辭任猪股謙二郎君 補關大島 寅吉君

一去年十四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

一三 江藤源九郎君
三三六 愛知縣第二區選出議員

三八七 田中 貞二君
一去年十四日常任委員補選結果左ノ如シ

第一部選出
請願委員 杉山元治郎君(小池四郎君

補關)

第九部選出

豫算委員 平野 光雄君(大島寅吉君

補關)

一去年十四日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ
第八部選出決算委員 吉田 綱明君

第六部選出建議委員 貝谷 眞孜君
一去年十四日特別委員理事補選結果左

ノ如シ
農業倉庫業法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)委員

理事 横山 泰造君(理事清家吉次郎
君本月七日委員辭任ニ付其ノ

補關)
一去年十四日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)委員

辭任中村不二男君 補關眞鍋 儀十君
○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、都合ニ依リマシテ暫時休憩致シマス
午後一時十分休憩

午後三時六分開議
○議長(秋田清君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ

開キマス、去ル八日本議場ニ於ケル岡本一
已君ノ演說ニ關シ、米田規矩馬君及ビ林讓

治君ヨリ一身上ノ辯明ニ付キ發言ヲ求メラ
レマシタ、此際順次之ヲ許可致シマス――

米田規矩馬君
(米田規矩馬君登壇)

○米田規矩馬君 去ル二月八日、岡本一已
君ヨリ綱紀肅正ニ關スル演說ガアツタノデ

ゴザイマス、其中ニ私ノ一身上ニ關スル論
及ガアツタノデゴザイマス、此事ハ私一個ノ

問題デアルト同時ニ、政黨ノ體面ニ關スル
問題デアリ、延テハ議院ノ面目ニ關スル所

ノ大キナ問題デアルト考ヘルノデアリマ
ス、當時私ハ丁度所用ノ爲ニ、此席ニ居ル

コトヲ得マセヌデシタ、速記録ニ依リテ承知
致シタノデアリマスルガ、其論旨ハ第一點

トシテ、私ガ番町會ノ人々ト氣脈ヲ通ジテ
居ルカノ如キ口吻ガ漏サレテ居ルノデアリ

マス、今一ツニハ、岡山財閥君クハ第六高
等學校ノ出身者ガ、一ツノ團結ヲ致シマシ

テ、番町會ノ人々ト臺灣銀行トノ間ニ、臺
灣銀行ノ所有致シマスル所ノ株式ヲ處分ス

ルニ當テ、其六高「ブロック」ナルモノガ中
ニ介在致シマシテ、其取引ノ斡旋デモ致シ

タカノ如キ口調ガアリ、延テハ其爲ニ金錢
ノ授與デモ受ケタノデアアルマイカト云フ

疑ヲ、挾マシムルニ十分デアルヤウナ言辭
ガアツタノデアリマス、併ナガラ私ハ番町

會ナルモノハ存ジマセヌ、表裏共ニ全ク
關係ヲ持タナイモノデアアルデゴザイマ
ス、第六高等學校ノ出身者トシテ、舉ゲラ
レテ居リマスル人々ノ中ノ大半ハ、私ノ知
ラナイ人デアリマス、附合ヒヲ持タヌ人デ
ゴザイマス、黒田次官ガ學ゲラレテ居リマ
スルケレドモ、此人ハ第六高等學校ガマダ
出來ナイ當時ノ高等學校ヲ卒業ナサツタ方
デアルト考ヘル、隨テ六高ノ卒業生デハゴ
ザイマセヌ、尙ホ私トシテノ附合ヒハゴザ
イマセヌ、公務以外ニハ何等御附合ヒヲシ
タ覺エノナイ人デゴザイマス、島田氏、是
亦私ハ私交上ノ附合ヒヲ持テ居リマセヌ、
永野氏、此人モ調ベマスル所ニ依ルト、第
一高等學校ノ卒業生デアリマシテ、第六高
等學校ノ卒業生デハゴザイマセヌ、此人ト
ハ私ハ同縣人ト云フ關係以外ニハ、何等ノ
附合ヒヲ持タマセヌ、太田氏ニ付キマシテ
ハ、是ハ全ク面識ノナイ人デアリマス、名

前モ岡本君ノ發言ニ依テ初メテ知タ人デアリマス、斯様ナ事情デアリマシテ、是等ガ一緒ニナラデ一ツノ團體ヲ作ルト云フガ如キハ、全クハ事實無根ノ事柄デアアルノデアリマス、ノミナラズ是等ノ人ト共同セザルノミカ、私個人ト致シマシテモ、番町會ノ人々ト臺灣銀行ノ持株處分ニ當リマシテ、私ガ中ニ介在ラ致スト云フコトハ、斷ジテ無イ事柄デアアルノデアリマス(拍手)

私ハ衆議院ニ席ヲ置キマスル傍ラ、僅カナガラモ國家ノ祿ヲ食ンデ居ル者デアアル、斯様ナ身分ニ在ル者ガ、銀行會社、若クハ個人ノ間ニ立チマシテ、株式ノ取引ノ仲介ヲシテ、苟モ一錢一厘デモ私、利得ヲ得ルト云フガ如キコトハ、綱紀弛緩ノ甚シキモノデアアルト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)斯様ナ事實ガアリマスルナラバ、私ハ即時ニ官ヲ辭スルノデアアル、私ハ衆議院議員ノ職責ヲモ辭スルコトヲ聲明ラ致シマス(拍手)斯ノ如キ侮辱ヲ與ヘテ居ル發言者ハ、其責任ヲ如何ナサル御積リデアリマスカ(拍手)

凡ソ國家ノ不安、政黨ノ不振ト云フコトガ言ハレテ居リマスルガ、國家ノ不安ト云フコトハ、認識ノ不足ニ基因スルノデアアル、政黨ノ不振ハ、政黨ガ眞實有ルコトヨリモ、誤テ世間ニ流布サレルト云フコトデアアル、眞實有ルコトヨリモ、ヨリ惡シ様ニ世間ヲシテ思ハシメルト云フコトニ、政黨ノ不振ガアルノデアリマス(火ノ無イ所ニ煙ハ立タヌ)「默レ」ト呼フ者アリ殊ニ況ヤ政黨ニ屬スル人、ソレ自身ガ自ラ侮辱スルガ如キ行爲ニ出マスルナラバ、何デ政黨ノ威信ガ保タレラウカ(拍手)自ラ侮辱スル者ニ向テ、何デ國民ノ尊敬ヲ

得ラレモノデアラウ、己ノ心ヲ以テ他人ノ心ヲ付度致シマシタリ、己ノ行動ヲ他人ノ行動ニ置替ヘルト云フコトハ、嚴ニ之ヲ慎マナクテハナラス(拍手)自分デアッタラ斯ウモシタデアラウト云フヤウナ行爲ヲ、他人ニ強ヒテハナリマセヌ(拍手)道路ノ風説ニ聽キ、若クハ揣摩臆測ヲ以テ事ヲ斷ズルト云フコトハ、是ハ大キナ誤リヲ來スノデアリマス、議員ノ一言一句ト云フモノハ、千鈞ノ重サガナクチヤナラヌト考ヘル、斯クテコソ議員ノ品位ガ擧リ、國民ノ議員ニ對スル信望ハ、茲ニ初メテ起テ來ルノデアリマス、若シ夫レ傷ケンガ爲ニ殊更ニ斯ノ如キコトヲ申スナラバ、是ハ人格ノ劣等ナ者デアリマシテ、紳士トシテノ體面ヲ持タナイモノデアアル、若シ然ラズシテ流言風説ニ依テ、若クハ自ラノ揣摩臆測ニ依テ事ヲ斷ズルト云フコトハ、輕率ノ甚シキモノト言ハナケレバナラヌト考ヘル、斯様ナ意味ニ於キマシテ、私ハ斯ノ如キ問題ガ、本院ノ問題ニ相成リマシタコトハ遺憾ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、返ストモ申上ゲマスルガ、岡本君ノ言論ニ付キマシテハ、私毛頭身ニ覺エノナイコトデアアルノデアリマス、茲ニ謹ンデ聲明ラ致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 林讓治君(林讓治君登壇) 諸君、去ル八日、本會議ニ於キマシテ、會テ同志タル岡本一巳君ヨリ、私ノ一身上ニ關スル點ニ言及セラレタ譯デアリマス、然ルニ其申サレタルコトヤ、洵ニ慮外ノコトデアリマシテ、全ク事實無根デアリ、吾々迷惑至極ニ存ズル點デアリマス、如何ニ言論ガ自由ナル議會ニ於キマシ

テモ、斯ル言辭ヲ弄スルコトハ、今日ノ場合五ニ議員トシテ慎ムベキコトデアアルト私ハ深ク信ズル者デアリマス(拍手)然ルニ何ゾヤ、徒ニ言辭ヲ弄シテ自ラ傷ケルガ如キコトハ、五ニ戒メテ、サウシテ議會ノ向上ヲ期シ、今日ノ世評ヲ一掃スルコトガ必要デアアルと思フ譯デアリマス、私、米田君ト共ニ六高ノ出身デアリマスガ、全ク知ラザル方デ、又存ジ上ゲテ居ル方ハ、二箇年間バカリ全ク面接ヲ致シタコトノナイ方デアリマス、若シ是ガ事實ト致シマシタナラバ米田君ト共ニ吾々責任ヲ取ル上ニ於テ吾カナラヌ者デアリマス、一言以テマシテ聲明ノ辭ト致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 只今議員岡本一巳君ヨリ米田議員ノ一身上ノ辯明ニ關スル一身上ノ辯明ヲシタイト云フ通告ニ接シタノデアリマス、蓋シ是ハ去ル八日岡本君ノ演説ニ對シ、只今米田、林兩君ヨリ一身上ノ辯明ガアリマシタノデ、之ニ付キ此辯明演説中岡本君ノ名ニ觸レラレマシタ事ニ基イテ、更ニ岡本君ヨリ一身上ノ辯明演説ヲ爲サレヨウトノ御趣旨ト議長ハ察スルノデアリマス、然ルニ斯様ナ事ヲ繰返セバ、即チ岡本君ノ演説ニ對シテ、米田、林兩君ガ一身上ノ辯明ヲセラレルトコト、是ハ先例ニ依リ當然許サナケレバナラスノデアリマスガ、其辯明演説ガ偶、岡本君ノ名ニ觸レタリシテ、岡本君ガ又一身上ノ辯明ヲセラレ、岡本君ガ一身上ノ辯明ヲセラレタ結果、ソレガ又米田君、林君ノ名ニ觸レラレルト云ウガ如キコト、ナリテ(笑聲、拍手)五ニ一身上ノ辯明ヲ交互ニ繰返スト云フコトニ相成リマスルト、是ハ畢竟關係者ノ間ニ於テ、討論ヲ重ナラレル

ガ如キ結果ヲ、議長ガ容認スルコト、ナルノデアリマスカラ、議長ニ於キマシテハ、議會振肅ノ必要上、斯様ナコトハ洵ニ遺憾千萬ノ事柄ト考ヘマスル、隨テ、議長ハ議場整理ノ職權ヲ以テ、此岡本君ノ一身上ノ辯明ハ許可セザルコトニ致シタイト考ヘルノデアリマス(拍手)岡本君ニ於カレマシテハ、宜シク別様ノ形式ニ於テ、其所信ヲ明ニセラレルヤウ御願シタイト思ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 此際谷原公君ヨリ成規ニ依リ、議事日程ヲ變更シテ、去ル八日本院ニ於ケル岡本一巳君ノ發言ハ、本院ノ威信ニ關スルモノト認ム、仍テ速ニ事實ノ真相ヲ明ニスル爲メ、議長指名十八名ノ調査委員ニ付託スベシトノ動議ヲ、議題トスベシトノ緊急動議ガ提出セラレマシタ、尙ホ江藤源九郎君ヨリモ、成規ニ依リ議員岡本一巳君、林讓治君、米田規矩馬君ノ臺灣銀行所有株處分ニ關スル言動ニ付キ、議長指名十八名ノ委員ニ付託シテ、調査セシムベシトノ動議ヲ、議事日程ヲ變更シテ緊急上程スベシトノ動議ヲ提出セラレマシタ、仍テ茲ニ諸君ニ御諮リ致シマス、議事日程ヲ變更スルニ御異議アリマセヌカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、政府ハ議事日程變更ニ同意セラレマスカ——政府ハ議事日程變更ニ同意ノ意思ヲ表明セラレマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——谷原君提出ノ動議ト、江藤君提出ノ動議ハ、同種類ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、政府ハ議事日程變更ニ同意セラレマスカ——政府ハ議事日程變更ニ同意ノ意思ヲ表明セラレマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——谷原君提出ノ動議ト、江藤君提出ノ動議ハ、同種類ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、政府ハ議事日程變更ニ同意セラレマスカ——政府ハ議事日程變更ニ同意ノ意思ヲ表明セラレマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——谷原君提出ノ動議ト、江藤君提出ノ動議ハ、同種類ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ヲ一括シテ議題ト爲シ、順次提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——谷原公君

〔谷原公君登壇〕

○谷原公君 私ハ議員ノ品位保持、竝ニ議會ノ威信確立ノ爲ニ、次ニ申述ブルガ如キ動議ヲ提出致シタイノデアリマス「去ルハ日本院ニ於ケル岡本一巳君ノ發言ハ、本院ノ威信ニ關スルモノト認ム、仍テ速ニ事實ノ真相ヲ明ニスル爲メ議長指名十八名ノ調査委員ニ付託スヘシ」事ハ頗ル重大デアリマス、併ナガラ其趣旨ハ、既ニ諸君ノ大部分ガ御諒解濟ナリト思量致シマスルガ爲ニ、至極簡單ニ趣旨辯明ヲシタイノデアリマス、御承知ノ如ク曩ニ議長ノ發議ニ依リマシテ、議會振肅委員會ナルモノガ設ケラレマシテ、色々改善向上ニ努力致サレマシタ結果、本會議ノ行動ノ如キハ、國民ノ信頼ヲ益、増加致シマシテ、今ヤ所期ノ目的ヲ達成スル域ニ到達シタト申シテモ、過言ニ非ザル狀態ニマデ、改善セラレテ來タノデアリマス、然ルニ圖ラズモ本月八日岡本一巳君ガ、臺灣銀行ノ所有株賣却ニ關スル質問演說ヲ爲サレマシタ其中ニハ、吾々ノ同僚ニシテ、而モ秘書官ノ地位ニ在ラレル、米田君及ビ林君ノ御氏名ヲ御引用ニナリマシテ、何カ兩君ノ御行動ガ、綱紀ヲ紊スコトニ關係アリヤト思ハシムルガ如キ御演說ノアリマシタコトハ、私共頗ル遺憾トスル所デアリマス(拍手)ノミナラズ御演說ノ一部ニハ、某大官ガ昨年ノ盆ニ、アノ百三十人トカニ配タ金ハ、何處カラ取タ金デアアルカ、斯様ナコトマデ明言サレテ居ルノデアリマス、固ヨリ先程御兩君ノ御辯明ニ依リマシ

テ、私共ハ一應御兩君ノ御辯明ガ眞實ナリト思量致シマス、又左様ナケレバナラスコトト存ジマス、併ナガラ岡本君モ、此帝國議會ヲ構成スル一員ト致シマシテ、而モ他人ノ身上ニ關スルコトヲ此議政壇上ニ於テ御公言サレタノデアリマス、即チ岡本君ノ此御演說モ、單ニ一應ノ疏明デアリ、御兩君ノ一身上ノ御辯明モ、亦一應ノ疏明デアアル、世間ノ人々ハ誰カ鳥ノ雌雄ヲ論ゼンヤト云フコトニ、或ハ歸スルカモ分ラヌノデアリマス(拍手)左様ナコトデハ吾々議員ノ品位ヲ保持シ、議會ノ威信ヲ確立スル上ニ於キマシテハ、甚ダ不十分デアリマス(拍手)私共ハ問題ニ出サレマシタ御兩君ノ汚辱ヲ雪グ爲メ、其名譽ヲ保持スル必要上カラ申シマシテモ、特別委員ニ付託致シマシテ、徹底的ノ詮議ヲ遂ゲマシテ、其黑白ヲ明ニスル必要ガアルト思フノデアリマス(拍手)況ヤ世間ノ疑惑ヲ解キ、議會ノ品位ヲ益、向上シ、國民ノ信頼ヲ益、厚カラシムル必要上、此措置ハ絕對ニ必要ナリト信ズルノデアリマス(拍手)況ヤ官ノ御都合デアラウカトハ思ヒマスルガ、議會開會中ニ兎角ノ世評ヲ耳ニ致シマシタ商工大臣ノ更迭トナリ、或ハ或ル議員ノ黨籍除名ノ問題ガ起キ、或ハ一部ノ人ノ離黨問題等ガ起キマスルト、世間ノ人々ハ、是等ノ事ト色々聯想致シマシテ、何等カ其處ニ或ル醜イモノガ伏在シハシナイカト云フ疑惑ヲ、益、深カラシムル實況ニアルノデアリマス(拍手)吾々議會革正ノ決意ヲ有テ居リマスル者ハ、現在ノ此實況ヲ默過スルコトハ出來マセヌ、是非特別委員ニ其調査ヲ付託致シマシテ、其真相ヲ明ニシ、若シ岡本君ノ指摘セラレマシタガ如キ事實アリト致シマスルナラバ、

是ハ徹底的ニ其非違ヲ糾弾セナケレバナリマセヌ、又若モ岡本一巳君ノ言動ニシテ、無根ノ事實ヲ誣イタト云フコトデアリマシタナラバ、同君ノ言動ハ獨リ同僚ノ名譽ヲ毀損シタルニ止マラズ、帝國議會ノ品位ト體面ヲ汚辱シタル叛逆者トシテ、是亦徹底的處分ヲ爲サナケレバナラスト信ズルノデアリマス(拍手)

私ハ以上ノ次第ニ依リマシテ、議會政治向上ノ唯一念ヨリ致シマシテ、此提案ヲ爲ス次第デアリマスルカラ、ドウカ此趣旨ヲ諒トセラレマシテ、滿場諸君ノ御賛成アラシコトヲ切望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 江藤源九郎君

〔江藤源九郎君登壇〕

○江藤源九郎君 私ハ臺灣銀行所有株賣却ニ關シ、議員岡本一巳、鳩山一郎、三土忠造、米田規矩馬、林讓治ノ五氏ヲ查問委員ニ付スベシトノ動議ニ付キ、其趣旨ヲ辯明致シマス(違フ)「ト呼フ者アリ」去ルハ日岡本一巳君ハ、臺灣銀行ガ其所有スル帝國人絹會社ノ株式ヲ賣却スルニ當リ、臺灣銀行頭取島田茂ト、同ジク第六高等學校出身者デアアル三土鐵相秘書官米田規矩馬、文相秘書官林讓治兩君、及ビ三土鐵相ノ元書生デアッタ住田正一等ガ活躍シテ、他ノ買受申込人ヲ一蹴セシメ、特定ノ人々ニ買受ケセシメタルガ如キコトハ、是等秘書官ノ力ノミヲ以テシテハ到底不可能ナノデアッテ、其背後ニハ三土、鳩山ノ兩大臣ノ活躍ガアツタコトヲ暗示セラレタノデアリマス(拍手)斯ノ如キハ實ニ看過シ難イ重大ナル事件デアリマシテ、斷ジテ不問ニ付シ難イ事件デアリマス、言フマデモナク綱紀ノ問題ハ、實ニ一國ノ風教ニ關スル重大ナル問題デア

リマス

〔議長中止シナイカ〕其他發言スル者アリ

○議長(秋田清君) 江藤君、御演說中デアリマスルガ一言御注意致シマス、只今議題トナッテ居リマスルノハ、アナタノ御提出ノ動議ノ趣旨辯明デアリマス、然ルニ只今趣旨辯明中ニ御述べニナリマシタ御言葉ト、議長ノ手許ニ接受致シテ居リマスル、アナタノ御提出ノ緊急動議ノ書面トハ、其内容ヲ異ニシテ居ルヤウデアリマス、即チ議長ノ接受シタル書面、只今議題ニナッテ居リマスル動議、是ハ岡本一巳君、林讓治君、米田規矩馬君、此三君ニ係、テ居ルノデアリマス、然ルニ只今アナタノ御演說中ニハ、更ニ加フルニ鳩山一郎君ノ名ヲ見タノデアリマス、又三土忠造君ノ名前ヲモ見タノデアリマス、若シ此鳩山、三土兩君ヲモ合セテ調査委員ニ付託セントスル動議ノ御趣意ナラバ、更ニ改メテ相當ノ御手續ヲ願ハナケレバナラスノデアリマス、若シ此兩君ノ名前ヲ指摘セラレタコトガ、アナタノ誤デアラナラバ、此際兩君ノ名前ヲ除クト云フコトヲ、其壇上ニ於テ公言セラレンコトヲ希望致シマス

○江藤源九郎君 ソレデハ只今議長ノ御注意ガアリマシタルガ故ニ、私ハ此五氏ノ查問委員會ニ付スベシトノ動議ヲ、提出スル考デアリマシタケレドモ、何カ其處ニ事務上ノ違ヒガアリマシテ、議長ニ提出致シマシタ動議ガ、私ノ考ト違ッテ居リマシタノデ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○江藤源九郎君(續) 三土君ト鳩山君ノ二

名ハ、私ノ今申シマシタ趣旨辯明ノ中カラ除キマス、此事ヲ申上ゲテ置キマス……

〔言ウテモ宜イゾ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○江藤源九郎君(續) 網紀弛緩シタル政府ハ、國家ヲ毒スルヤ勿論デアリマス(拍手)隨テ嚴肅ニ網紀ヲ守ルコトハ、政府ニ取リ最モ重大ナル責任デアリマス、即チ岡本君ノ以上ノ發言ニ依リ、政府ノ信任ニ關シ、國民ノ間ニ重大ナル疑惑ガ起リ掛ケテ居ルト云フコトハ、私ノ最モ遺憾トスル所デアリマス(拍手)此問題ニ付キ輔弼ノ重責ヲ負ヒマス所ノ潔白ガ、明白ニ證明致サレル必要ガアルト思フデアリマス(拍手)岡本君質問當日(違フ)ト呼フ者アリ)違ヒアリマセス

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○江藤源九郎君(續) 之ニ對シテ答辯ヲ要求セラレタル總理大臣、大藏大臣、商工大臣、司法大臣ノ四大臣ノ御出席ハナク、隨テ岡本君ノ質問ニ對シ答辯ガナカッタノデアリマス、ソレガ爲ニ當時此問題ガ世間疑惑ノ焦點タルニ至ッタコトハ、甚ダ残念デアリマス、若シ其當時以上ノ四大臣ガ岡本君ノ質問ニ對シ、誠意ヲ以テ明確ナル答辯ヲ與ヘラレ、幸ニ岡本君ノ疑惑ヲ除カレタナラバ、本日此動議ヲ出ス必要ハナカッタノデアリマス(拍手)何故ニ各閣僚ハソレヲ爲サナカッタノデアルカ、私ハ此問題ニ關シテハ、今日ヲ俟タズシテ、十分ナル論議ヲ盡スコトガ、衆議院當然ノ責任デアアルコトヲ痛感致ス者デアリマス(拍手)岡本議員ガ言及セラレタルガ如ク、先日佛蘭西ニ勃

發セルアノ暴動ハ何ニ原因スルカ(拍手)佛國ノ政府大官ガ政商ト結托シテ、網紀ヲ紊亂セル事實ニ對シ、下院ガ全然其職責ヲ怠リ、十分ノ論議ヲ盡サナカッタカラデアアルノデアリマス(拍手)巴里民衆ノ憤激ハ、此一點ニアッタノデス、然ルニ政府ハ此重大ナル網紀問題ノ質問ニ對シ、一屬僚ヲシテ曖昧無責任ナル答辯ヲナサシメタノミデアリマス、斯ノ如キハ現内閣ノ成立ト、存在ノ本旨ヲ沒却スルダケデアリマセスカ、實ニ議員ノ職責ヲ政府自ラ求メテ蔑ロニシタルモノト言ハナケレバナリマセス(拍手)

斯クテハ議員ハ到底其職責ヲ全ウスルコトハ出来ナイノデアリマス、私ガ此動議ヲ提出スルハ、議員其モノ、職責ヲ全カラシメシコトヲ切望スルカラデアリマス(拍手)即チ議會ノ權威ヲ發揮シ、議會ヲシテ國民ノ信頼ヲ失ハザラシメンガ爲デアリマス、岡本君ニ依ッテ指摘サレタル網紀問題ハ、疑惑ノ一焦點タリシ中島商相ノ辭職ニ依ッテ、政治上ノ重大性ヲ一層加フルニ至ッタモノト言ハナケレバナリマセス(拍手)即チ商相辭職ノ原因ハ甚ダ明瞭デアリマセス、商相辭職ノ前後、貴衆兩院ノ形勢ハ網紀問題、殊ニ中島商相ノ身邊ニ絡ハル網紀問題ニ關聯致シマシテ、非常ナル追窮ガアッタコトハ事實デアリマス、岡本君ノ發言モ勿論此點ニ觸レテ居ルノデアリマス、一方又同商相ノ書カレタ足利尊氏論ニ關シマシテモ、辛辣ニ追窮サレテアッタノデアリマス、此事實ハ同商相ノ辭職ニ依リ、岡本君ノ質問ニ原因スル三士、鳩山兩相ニ關スル世間ノ疑惑ヲ一層深メタイト言ハナケレバナリマセス(拍手)隨テ私ノ動議ノ趣旨ヲ明ニスル爲ニモ、此事ニ觸レル必要ガアルノデアリマス

一體國民ハ中島商相辭職ノ政治的理由ヲ如何ニ解スベキデアルカ、同商相ノ辭職ハ、網紀問題ノ爲デアルカ、或ハ尊氏問題ノ爲デアルカ、或ハ此兩問題ヲ理由トスルノデアルカ、將又中島商相ハ、網紀問題ノ内容重大ナルニ鑑ミマシテ、此儘留任シテ居テハ累ヲ現内閣、即チ三士、鳩山兩相等ニモ及ボサンコトヲ恐レテ(拍手)名ヲ尊氏問題ニ藉リテ引責辭職サレタノデアアルカ、其真相ハ明デナイト言ハナケレバナリマセス、併ナガラ辭職直後中島商相ハ、極メテ朗カニ貴族院ニ登院セラレマシタ、又商工省ニ於ケル辭任ノ挨拶ノ時モ、今回ハ端ナクモ不慮ノ事ニ依ッテ突然辭任スルコト、ナリ云々ト言ハレマシテ、病氣ノ爲メ辭任シタトハ述べテ居ナイノデアリマス(拍手)隨テ中島商相ノ辭職ハ、名ヲ病氣ニ藉リ、主トシテ網紀問題ニ關聯スル政治的辭職デアルト、國民ハ齊シク斷定シテ居ルノデアリマス、隨テ岡本君ノ質問演說ノ内容ヲ吟味スル場合、此點ハ極メテ重大ナル意義ヲ含蓄スルノデアアルト思ヒマス(拍手)

繰返シテ申シマスルガ、私ノ動議ノ趣旨ハ、此事實ヨリ述べナケレバ明ニナラナイノデアリマス、虛構ノ理由ニ依ッテ、中島商相ヲ辭職セシメテ、上御一人ヲ欺キ奉ッタトノ印象ヲ國民ニ懷カシメ、齋藤總理大臣ノ臣節ニ疑惑ヲ持タシメタコトモ亦、岡本君ノ質問中ノ言辭ヲ查問スル必要ヲ痛感セシメル所以デアリマス(拍手)更ニ大藏大臣ハ、臺灣銀行ニ對シ直接監督ノ立場ニアルニ拘ラズ、此重大ナル網紀問題ニ關シ自ラ答辯ヲ避ケ、事ヲ曖昧裡ニ葬ラントスルハ抑、何事デアリマス(拍手)斯ウ云フヤウナ意味ノコトヲ、岡本君ハ言ハレタノデアリマス、岡本君ハ更ニ曰ク、司法大臣ガ同君ノ質問ニ對シ何等カノ答辯ナキハ現内閣ノ使命ヲ解セズ、誠意ヲ缺クモ亦甚シイト云フ意味ノ發言ヲシテ居ルノデアリマス、此兩大臣ニ對スル岡本君ノ質疑ニ對シ、兩大臣ガ誠意アル答辯ヲ怠リテ居ルコトモ、世間ノ疑惑ヲ深カラシメタノデアリマスカラ、此事實ヲ指摘スルコトモ、私ノ動議ヲ明ニスル所以デアアルノデアリマス(拍手)緒テ最初ニ述べマシタ如ク、岡本君ノ質問中、疑ハ吾々ト共ニ衆議院議員デアアル鳩山文相並ニ三士鐵相ノ側近ニ及ビ、斯ル無力ノ人ガ斯ル大事ヲ敢行シ得タノハ、其背後ノ力ナリト斷定シテ居ルノデアリマス(拍手)其背後ノ力トハ鳩山文相ト三士鐵相ヲ指スノデアアルコトハ明瞭デアリマス、身ハ苟モ輔弼ノ責任ニ在リ、而シテ兩相ニ對スル疑惑ハ既ニ議政壇上ヨリ國民ノ耳目ニ暴露サレテ居ルノデアリマス、驚クベキコトハ、岡本君ハ網紀ヲ紊亂シテ、不正ニ莫大ナル金員ヲ使ヒ、某大臣ガ昨年ノ盆ト暮ニ百三十人ノ——ニ惡錢ヲ分配シタト推斷スルニ足ル(ソナコトハ言ッテ居ラス)ト呼フ者アリ)發言ヲシテ居ルコトデアリマス、而モ確乎タル證據ヲ握ッテ此事實ヲ指摘スルノデアアルト斷言シテ居ルノデアリマス(拍手)尙ホ又之ニ附加ヘテ、此事ハ神聖ナル司法權ガ自ラ事實ノ裁斷ヲ下スグラウト明言シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ岡本君ノ發言ヲ不問ニ付スルコトハ、絕對ニ出来ナイト信ジマス(拍手)何故岡本君ハ斯ノ如キ重大ナル事項ヲ明確ニ發言セラレヌノデアリマス、是ハ實ニ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、此點ニ付テハ岡本君ハ重大ナル責任ヲ負フモノト信ジマス(拍手)

遠ク佛蘭西ノ暴動ヨリ、近ク我が五・一五事件ヲ思フ時、之ヲ不問ニ付シテ閑却スルコトガアツタナラバ、國家ノ爲ニ私ハ此上ナキ不幸ナリト思フノデアリマス(拍手)實ニ權力者——上層階級ノ不正ニ對スル國民ノ疑惑ガ、不可解曖昧ノ裡ニ葬リ去ラレル程國家社會ニ取リテ危險ナコトハナイト信ジマス(拍手)隨テ本員ハ本員ノ職責ト致シマシテ、岡本君ガ投ゲタル是等ノ問題ニ關シ、徹底シタル調査ヲ遂ゲ、黑白ヲ明ニスルハ本院當然ノ責任デアルト信ズルノデアリマス(拍手)私ハ此機會ニ於テ調査スベキ事項ヲ指摘スルコトガ、私ノ動議ノ趣旨ヲ徹底セシムル所以デアルト信ズル者デアリマス(拍手)ソレデ其要項ヲ述ベルコトニ致シマス

第一、鳩山文相ハ臺灣銀行ガ帝國人絹株賣却ニ先立チ、日銀總裁ヲ訪問シ、賣却條件ヲ記載セル文書ヲ示シテ、日銀總裁ト交渉セラレタル事實アリ、此動機及ビ交渉ノ顛末

第二、三土鐵相ハ元書生デ現在親交アル住田正一ト謀リ、高松市第百十四銀行總務部長里見信三ヲシテ、神戸製鋼株一万株ヲ買得セシメタル事實アリ、其動機及ビ顛末

第三、岡本君ガ指摘シタル百三十名ノ氏名

第四、岡本君ノ發言ガ眞實ナリトセバ、右ノ百三十名ニ分配サレタ金額、其出所及ビ分配ノ理由及ビ其経緯

第五、其他岡本君ノ指摘シタル疑惑竝ニ世間ノ疑惑ニ對シ、之ヲ明ニスベキ一切ノ顛末

ソレハ大藏次官黒田英雄氏ハ、連夜築地蜂龍、金田中、紀文等其他數箇所ノ待合ニ於テ、酒色ニ耽レル事實ガアルノデアリマス(拍手)同氏ノ俸給ノミヲ以テシテハ、到底其支拂ハ不可能ナノデアリマス(拍手)右ノ費用ハ臺灣銀行頭取島田茂氏及ビ本件疑惑ノ中心人物トシテ曩ニ岡本君ガ指摘シタル永野護、河合良成氏等ニ依リ支辨セラレ居ルトノ取沙汰專ラナルニ拘ラズ、其責職非違ノ事實ニ對シテ、當局ガ全ク之ヲ閑却シテ居ルトノコトデアリマス、此事實モ三土、鳩山兩相ヘノ疑惑ヲ深カラシムルモノデアリマス(拍手)近時澤山疑惑ガアリマス、併ナガラズノ如キ重大ナル非違ヲ拾テ、置イテハ、洵ニ官吏ト致シマシテモ、内閣ト致シマシテモ、世間ニ對シテ申譯ガナイト私ハ思フノデアリマス(拍手)デアリマスルカラ、司直ノ責任ヲ有セラル、所ノ司法大臣ハ、他ノ群小瀆職事件ハ之ヲ拾テ、置イテモ、斯ノ如キ事實ヲ搜查スルコトガ最も必要デアルト私ハ思フノデアリマス(拍手)又貴衆兩院ニ於ケル臺灣銀行所有株處分ニ關スル大久保局長ノ答辯ハ、岡本君ノ指摘セル如ク、毫モ疑惑ヲ解クニ足ラナイノデアリマス、政府ハ速ニ臺灣銀行法第十九條第一項ノ規定ニ依リ、次ノ事實ヲ明ニスル必要ガアルト信ジマス(拍手)即チ臺灣銀行ガ昭和八年中帝國人絹株十一万株ヲ賣却セル直接買受人ノ氏名、各賣買株數、賣買値段、賣買契約成立ノ月日及ビ其履行月日、即チ株式受渡月日、買受人ノ名義書換濟月日、株主名簿記載ノ書換月日等デアリマス、更ニ右株式ノ買受人ハ、昭和八年上半年期ノ配當一割五分ハ買受人ニ於テ取得スルコト、六月ノ總會ニ於テ倍額ノ増資ヲ爲スコト、同株式ヲ京阪株式取引所ノ定期及ビ短期ニ上場ノコト等ノ條件ニテ、賣買契約ヲ締結シタルデアリマス、臺灣銀行當時政府ニ對スル報告書中、右條件ノ記載アリタリヤ否ヤノ事ヲ明ニスベキデアタノデアリマス(拍手)又臺灣銀行法第十九條第一項ニ依リ、大藏當局ガ、臺灣所有株處分ノ報告ニ接シタル時、臺灣ノ金庫、帳簿及ビ諸般ノ文書ヲ検査セザリシ事實ヲ釋明スベキデアタノデアリマス(拍手)臺灣頭取ノ島田茂氏ハ、一面ニ於テ公務員タルニ拘ラズ、多年帝國人絹株式會社ヨリ、決算期毎ニ三万圓乃至五万圓ヲ收受セル事實ガアルノデアリマス(拍手)然ルニ司法省ハ之ヲ看過セル事實、ソレ等ノ事實ニ關シテモ、政府ハソレノ經緯ヲ明ニスベキデアタノデアリマス(拍手)其事ナカリシハ、茲ニ問題トセル人々ニ對シ疑惑ノ念ヲ深カラシムルニ至ルコトヲ忘レテハナリマセヌ(ヒヤ)「拍手」三土鐵相ハ教育ニ經驗ヲ有テ居ラレ方デアリマス、鳩山文相ハ勿論帝國文教ノ重責ヲ擔テ居ラレタルデアリマス、然ルニ岡本君ガ指摘シタル事實ニ對シ、即時ニ辯明スル所ノ機會ヲ作ラナカッタノデアリマス(ヒヤ)「コハソモ何故デアルカ、良心ノ苛責ニ堪ヘナイノデアルカ(ノ)」「ヒヤ」(拍手)將又力ヲ恃ンデ其非ヲ遂ゲントスルノデアルカ(ヒヤ)「拍手」其心事ヲ諒解スルニ苦シムトノ印象ヲ國民ニ刻ミ付ケタコトハ確實デアリマス(拍手)且又百三十人ノ——ガ惡銭ニ身ヲ縛ラレテ、政治家タル節操ヲ喪フニ至タカラ疑ハシムルニ足ル岡本君ノ發言ニ關シ、漫然之ヲ看過スルハ、衆議院議員タル三土、鳩山兩君ノ場合ニ於ケルト同ジク……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○江藤源九郎君(續) 議會ノ權威ヲ疑ハシメ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○江藤源九郎君(續) 議會ニ對スル國民ノ信頼ヲ薄ラガシムルモノデアリマス(拍手)

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 議題ノ性質ニ鑑ミ極メテ靜肅ニ御聽取アラントヲ希望致シマス(ヒヤ)「拍手」

○江藤源九郎君(續) 果シテ然ラバ、岡本君ノ質問ニ依テ學ゲラレタル三土、鳩山兩相竝ニ無名百三十ノ——ニ對スル疑惑ヲ解クハ、一刻モ躊躇スルコトヲ許サナイノデアリマス(拍手)ノミナラズ吾人ハ、岡本君ガ此重大ナル事ヲ明瞭ニ言ハナカッタノハ、實ニ此神聖ナル議院ヲ冒瀆スルモノデアルト思フノデアリマス(拍手)何故之ヲ明瞭ニ言ハナカッタノデアリマスカ、吾人ハ飽マデ此事態ヲ糾明シ、黑白ヲ明ニスルハ、正ニ本院最大ノ急務デアルト信ズルノデアリマス(拍手)是レ即チ私ガ此動議ヲ提出スル所以デアリマス、議長ハ議長指名十八名ノ委員ヲ設ケ、右ノ事實ヲ徹底的ニ調査セシメ、其真相ヲ明ニスルコトヲ私ハ御願ヲ致シマス(拍手)

○岡本一巳君 議長

○議長(秋田清君) 一寸御待チ下サイ——江藤君ニ御諮リ致シマス、只今アナタノ御演說中、去ル八日ノ岡本一巳君ノ御演說ヲ引用セラレ、某大臣ガ百三十人ノ——ニ惡銭ヲ配付シ云々ノ御言葉ガアッタノデアリマス、岡本君ノ過日ノ御演說ハ「百三十

人トカニ「トアルノデ——トハナイノデ
アリマス」(其通り「取消セ」ト呼フ者アリ)
是ハ本院ノ面目ノ爲ニモ明瞭ニ致シテ
置クコトガ宜シト思ヒマス、御取消アラ
ンコトヲ議長ハ希望致シマス

○江藤源九郎君 取消シマス

(發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——此場合岡本
一已君ヨリ提案者ニ對シ質疑ノ通告ガアリ
マス、之ヲ許シマス——岡本一已君

(岡本一已君登壇)

○岡本一已君 私が去ル八日本院ノ此壇上
ニ於キマシテ、國務大臣ノ居ラザルコトヲ
遺憾トシツ、モ、現在ノ國情ト對照致シマ
シテ一日ヲ忽ウスベカラズト考フル點ヨリ
致シマシテ、質問ヲ發シマシタ事柄ニ對シ
マシテ、端ナクモ諸君ノ間ニ囂々ノ議論ヲ
惹起致スコトニ相成、タコトヲ遺憾ト致ス
者デゴザイマス、併ナガラ事ハ言フ迄モ
ナク現在ニ於キマシテ重大ノ性質ヲ含ンデ
居ルノデゴザイマス、本日茲ニ谷原君並
ニ江藤君ヨリ、此事態ヲ査問委員會ニ付シ
テ真相ヲ調査スベシト云フ御動議ガ出テ居
ルノデゴザイマス、ソコデ私ハ之ニ對シ
マシテ提案者ニ質疑ヲ致シタイノデゴザイ
マス、一體如何ナル方法、如何ナル範圍
ニ於テ之ヲ御調査ナサラントスルノデア
ルカ、是ハ一個ノ岡本トシテ申スノデハナ
クシテ——私ガ其渦中ノ人トシテ申スノデハ
ナクシテ、衆議院議員タル立場ニ於テ御尋
居ルノデアリマス、私ハ常ニ斯様ニ信ジテ
居ルノデアリマス、帝國議會ハ此上モナキ神聖
ノ場所ト信ズルノデゴザイマス、アノ憲法
七十六箇條ノ條章、是ガ即チ我が國體ノ姿
デアリ、吾々ノ有ユルモノガ此範圍内ニ於

テ活動スベキモノト私ハ信ジテ居ルノデア
リマス、隨テ議員ノ神聖ハ、恰モ至尊ノ御
前ニ於テ私共ガ詐ラズ、何等ノ私心ヲ挾マ
ズニ申上グルコト、同ジ態度ヲ以テ、此壇
上ヨリ發言セザルベカラザルコトヲ私ハ常
ニ信念ト致シテ居ルノデゴザイマス(拍手)
デ私ガ申述ベマシタコトニ對シテ——否私
ニ限ラズ、此壇上ヨリノ發言ニ對シマシテ、
其處ニ或ハ議院ノ神聖ヲ傷クルモノアリ、
或ハ由テ以テ意外ノ事態ヲ惹起スヤウナ
コトガアリト致シマスナラバ、之ニ對シマシ
テ査問ヲ致シ、之ヲ糾明シ、其真相ヲ突止
メルト云フコトハ、勿論必要ノコト、信ジ
マス、ソコデ私ハ其真相ヲ突止メルコトニ
對スル前提ト致シマシテ、茲ニ一ツノ事ヲ
皆様ニ御相談申上グル——ト申スヨリハ、
質疑ノ一ニ加ヘタイノデゴザイマス、先刻
此壇上ヨリ米田規矩馬君、林讓治君、此兩
君ガ述ベラレマシタ、アノ一身上ノ辯明、
此辯明ハ兩君ノ各、獨自ノ御考ヨリ出デタ
ルモノナルヤ否ヤ、恐ラク是モ其背後ニ斯
様ナ辯明ヲ爲セト教ヘタル一ツノ力ガ動イ
テ居ルコトヲ私ハ指摘シ、其證據ヲ此處ニ
持出サント欲スルノデアリマス(拍手)國務
大臣能ク御聽取リ願ヒタイ

回顧致シマスレバ、昭和六年ノ五月雨ノ
降ル五月ノ半バ頃デア、タコトヲ、私ハ身震
ヒテ致シナガラ茲ニ御話申上ゲナケレバナ
クナイ、ソレハ……(發言スル者多ク議場
騒然)ソレハ鳩山一郎君ヨリシテ、或人ヲ
介シテ私ニ至急會見シタシト云フ申込ガ參
タコトガアルノデアリマス

(發言スル者多ク議場騒然)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○岡本一已君(續) 私ハ黨籍ヲ同ウシテ居

リマシタ關係上、當時私ハ議員ノ籍ハ持ッ
テ居ラナイノデアリマスガ、鳩山氏ヨリノ
招キニ應ジマシテ會見致シタノデアリマス
〔議長々々中止ナサイ〕ト呼ビ其他發
言スル者多ク議場騒然

○議長(秋田清君) 岡本君ニ一言注意シマ
ス、總テ發言ハ許可ノ範圍ニ限ラレテ居リ
マス、範圍ヲ超越スル發言ハイケマセヌ、
場合ニ依ッテハ中止ヲ命ズルカモ知レマセ
スカラ、豫メ御注意ヲ申シマス

○岡本一已君(續) 議長ノ御注意ハ極メテ
當然ノコト、思フノデアリマス(拍手)私ノ
申述ベテ居リマスルコトハ、先程申シマシ
タ如ク、茲ニ舉證ノ責任ヲ持ツ所ノ査査會、
此査査會ガ如何ナル方法ヲ以テ、如何ニシ
テ調査スルヤト云フコトニ關係ヲ持ツノデ
アリマスル(拍手)即チ其意味ニ於キマシ
テ、或ル一ツノ例ヲ取ッテ、茲ニ斯ウ云フ事
モアルガ、サウ云フ事ハドウスルノデア
ルカト云フコトヲ提案者ニ質疑スル、其範圍
ニ屬シテ居ル事項ト私ハ信ズルノデアリマ
ス(拍手)其時鳩山氏ハ、鳩山家ノ一家一
門ノ浮沈ニ關スル問題ニ逢著シタカラシ
テ、鳩山家ノ一家一門、即チ法律家デア
ル所ノ一家一門ヲ集メテ茲ニ協議ヲ致シタ
結果、斯ウ云フ方法ヲ以テスルニ非ザレバ、
此或ル發生シテ居ル事柄ニ對シテドウスル
コトモ出來ナイ結果ヲ招來スルガ故ニ、君
ニ此事ヲ頼ムト云フ、或事ヲ私ニ話サレタ
コトガアルノデアリマスル(拍手、發言スル
者多シ)ソレハドウ云フ事カト申シマス、
恰モ樺太ニ突發致シマシタ樺太工業ノ潰職
事件……(發言スル者多シ)此潰職事件ニ……

○議長(秋田清君) 岡本君、一言御注意致
シマス……(發言スル者多シ)靜肅ニ——靜

肅ニ——總テ發言ハ範圍ヲ超越シテハナリ
マセヌ、又法規ハ他人ノ身上ニ涉、テ發言
スルコトヲ禁ジテ居リマス、御注意致シマ
ス

○岡本一已君(續) 有難ウゴザイマス、御
注意ニ從ヒマシテ、私ハ提案者ニ對シマシ
テ、必要トスル事項ノ範圍トシテ、是ヨリ
尙ホ進メタイト思フノデゴザイマス

(發言スル者多ク議場騒然)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○岡本一已君(續) 御靜ニ願ハナケレバ、
私ノ發言ガ提案者ニ徹底致サナイダラウト
思フノデアリマス

(發言スル者多ク議場騒然)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○岡本一已君(續) ソコデ私ハ、其内容ヲ聞
質シマシタ所、或ル方法ヲ講ジテ、此證據
ヲ湮滅スルニ非ザレバ、自分ニ對スル所ノ
或ル重大事項ガ起ルガ故ニ……

○議長(秋田清君) 岡本君——岡本君、御
發言中デアリマスガ、御注意ヲ致シマス、
他人ノ身上ニ涉、テ發言スルコトハ斷ジテ
イケマセヌ

○岡本一已君(續) 畏リマシタ、ソコデ私
ハ其話ニ應ジマシテ、或ル場合ニ於キマシ
テハ、其事ノ實行ニ當ルノ餘儀ナキコトヲ
承知致シタノデアリマス、果セル哉、其
事柄ハ證據不十分ノ故ヲ以テ、今日起訴猶豫
ト云フコトニ相成、テ居ルノデゴザイマス
ル(拍手、「何ヲ言、テ居ル」ト呼フ者アリ)
査問會ニ於テ證據ヲ舉グルコトニ對シ
テ、提案者ガ如何ナル方法、如何ナル手段
ヲ執、テモ(裁判所ト違フ)ト呼フ者アリ)
何處迄モ追窮ナサルコトニ對シテノ御心組
ガアルヤ否ヤニ對シテ、私ハ尋ネテ居ルノ

デアリマス(「ヒヤ」)「拍手」而シテ其學證ノ方法若シ宜シキヲ得ナイナラバ、アノ有ニル機關ヲ動員シテ、搜查權ヲ活用致シマスル司法ノ裁判所ニ於テサヘ、只今ノ如ク起訴猶豫ノ處分ヲシナケリヤナラヌヤウニ、證據ヲ集メルコトガ困難ナ結果ニ立至ルコトガアルコトヲ私ハ恐レマスルガ故ニ、ソレニ對シテ提案者ニ御尋シテ居ルノデアリマス(「拍手」)「遁口上ダ」卑怯ナコトヲ言フナト呼フ者アリ諸君、其一例ヲ申シマスルナラバ、茲ニ金ノ問題モ持上テ居ルノデアリマスルカラシテ、例ヲ茲ニ取リマスル、百三十名ノ人ニ金ヲ遣ラタ、之ニ對シマシテ、勸議ノ提案者ノ江藤君ノ如キハ、其氏名ヲ明ニシロ、其金ヲ授受シタル顚末ヲ、其經緯ヲ明ニシロト云フヤウニ(「當然ダ」ト呼フ者アリ)隨分提案ノ趣旨ヲ見マスルト、色々ナ事項ニ互ニ審査ヲシナケレバナラヌヤウナ事柄ガ述ベラレテ居ルノデアリマス、ソレ等ノコトヲ考ヘマスルト、ドウシテモ私ガ只今申スヤウナ質疑ヲ致サナケレバナラナイ筈ト考ヘルノデアリマス(「拍手」)ソコデ金ノ授受ト云フコトヲ證明シマスル事柄ハ、勿論私モ査問會ニ喚出サレマセウガ(「笑聲」)先ヅ其前ニ査問會、此提案ヲ爲サレタ方ニ對シマシテ、御承知ノ如ク、金ハ使ヘバ直グ無クナテシマフ(「笑聲」)何處ニ其金ハ殘テカカント言ハレテハ、甚ダ迷惑致シマスルガ故ニ(「拍手」)是等ノコトモ御尋ヲ致サナケレバナラナイ、先ニ申シマシタ時ノ例ヲ取リマス、其時或ル金ハ假拂金ト云フ名稱ニナテ居タ、其會社ノ帳簿ニ於テハ假拂金トナテ居ルカラシテ、何處ヘ其假拂金ガ行テ居ルンダト云フト、段々サウ云フモノ、先々ガ甲デアル、乙デアルト云フ風ニ

隠シ、答辯ヲシテ、之ヲ消シテ行キマシタガ、最後ニ五萬圓ノ一ツノ塊リ、金ノ塊リハ、ドウシテモ行先ヲ答辯スルコトガ出來ナイト云フコトニ相成タノデアリマス、ソコデ假ニ人ヲ茲ニ拵ヘテ、サウシテ之ヲ彌縫スルト云フ風ナコトハ、サウ云フ金ノ授受ニ於テ當然行ハレル一ツノ辯解方法デアリマス、權工事件ニ於キマシテハ、今申上ゲタノガ其例デアリマスガ、其五萬圓ト云フモノハ、ドウシテモ行先ヲハ、キリスルコトガ出來ナイ結果、政治ニ活動シテ居ル一箇ノ浪人岡本ニ、此五萬圓ヲ呉レテ遣ラト云フ證言ヲ致シテ、其事ガ終リヲ告ゲタコトガアルノデアリマス(「拍手」)其五萬圓ヲドウシタト呼フ者アリ)ソコデ只今申ス如ク、金ノ行先ノ究明ナド、云フコトハ容易ナコトデハナイ、ソコデ私ハ願ミテ思フ、ドナタニシテモ、私モ皆悉ク國民ノ代表タル地位ヲ贏チ得テ居ルノデゴザイマス、其言動苟モ人ニ累ヲ及ボシ、或ハ自ラノ此神聖ヲ傷クルガ如キコトヲ爲スベキモノデハナイノデアリマス、ソコデ只今ノヤウナ行爲ガ、一國ノ國務大臣ニアリト致シマシタナラバ、其結果ハドウナルデアリマセウカ(「拍手」)私ハ結果カラ聽イテ行カナケレバナラス、若シサウ云フコトニナリマスルト、其國務大臣ハ、實ニ國民ニ對シテ申譯ガナイト申スヨリモ 陛下ニ對シテ何ト申譯ヲ爲スコトガ出來ルカ(「拍手」)吾々議員トシテモ亦然リデアリマス、若モ不正ノ事ヲ致シタ人ガ其中ニアリト致シマシテ、サウシテ其事ガ、只今ノヤウニ究明サレルニ從テ、茲ニ虛偽ヲ作ルト云フコトニナリマスルト、此神聖ナル議場ガ又爲ニ潰サレルト云フコトニナラザルヲ得ナイ(「拍手」)自

分自身ガ潰シテ居ルデハナイカ)ト呼フ者アリ)諸君、紛々擾々トシテ徒ニ私ハ此處ニ論議ヲ費ス者デハナイノデアリマス、私ハ只今ノ例ヲ取テ申シマシタ事、其事ガ昭和六年五月ニ於テ、現文部大臣鳩山君ニ依テ行ハレタ事實デアリシコトヲ、此壇上デ絶叫致シマシテ、國民ト共ニ 陛下ニ對シテ何ト申上ゲテ宜イモノカラ、私ハ自ラ判斷スルコト能ハザル次第ナノデアリマス(「拍手」)

○議長(秋田清君) 岡本君——岡本君、再三御注意ヲ申上ゲマシタガ、アナタノ御演說ハ、兎角質疑ノ範圍ヲ脱シテ居ルヤウニ考ヘマス、(「ノー」)「其通り」ト呼フ者アリ)仍テ議長ハ發言ノ中止ヲ命ジマス

〔議長橫暴〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 是ヨリ討論ニ入リマス——濱田國松君

○濱田國松君 本員ハ此處デ發言致シタイト思ヒマスガ……

〔登壇々々〕ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 簡單ナル御發言デアレバ許可致シマス

○濱田國松君 最モ簡單デアリマスカラ、是ヨリ發言致シマス、只今議題ト相成テ居リマス、議會政治ノ威信ヲ維持スル爲ニ、過日ノ岡本一巳君ノ演說ニ包含セラレル事實ノ存否ヲ確メルノ目的ヲ以テ委員會ヲ設クベシトスル、谷原公君等ノ御提案ニ賛成ノ意ヲ表シマス(「拍手」)

○議長(秋田清君) 清瀬一郎君

○清瀬一郎君 是又簡單デアリマスカラ、本席ヨリ發言ヲ御許シテ願ヒマス——只今谷原君竝ニ江藤君ヨリ御發言ノ事柄ハ、實

ニ國政上重大ナル問題デアリマス、今日此問題ニ關シテハ、獨リ貴衆兩院ノミナラズ、滿天下ノ疑惑ヲ招イテ居ルノデアリマス(「拍手」)獨リ今日ノ問題ノミナラズ、過去ニ於テ彼ノ五・一五事件ヲ續發致シマシタ原因、又自カラ同種類ノモノデアリマス、(「拍手」)今日吾々國政ニ參加致シマス者ト致シマシテハ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○清瀬一郎君(續) 嚴正嚴密ニ是ガ調査ヲ要スルコトデアリマス、隨テ其調査ハ廣キ範圍ニ於テ、且ツ深ク調査シナケレバナラナイ、若モ江藤君御演說中ノ一節ノ事實ガ、本當ニアリマシタトスレバ、内閣總理大臣即刻罪ヲ闕下ニ謝セナケレバナラナイト考ヘマス(「拍手」)閣僚中罪ヲ犯セル者アルニ拘ラズ、平然トシテ其地位ニ居ルコトハ出來マセス、此趣意ヨリ致シマシテ、私ハ江藤君ノ廣キ範圍ニ於テ、且ツ深ク調査セントスル動議ニ賛成致ス者デアリマス(「拍手」)

〔五・一五事件ト關係ナイカラ清瀬君ニ取消サシテ下サイ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 龜井貫一郎君ニ御諮リシマスガ、アナタノ御通告ハ、討論トシテ反對演說デアリマス

○龜井貫一郎君 サウデス

○議長(秋田清君) 龜井貫一郎君

〔龜井貫一郎君登壇〕

○龜井貫一郎君 私ハ只今提出致サレマシタル動議ノ趣旨ニハ賛成デゴザイマス、爾ガ遺憾ナガラ其委員會ノ數ニ付キマシテ、反對ヲ表明セザルヲ得ナイノデアリマス、(「拍手」)申ス迄モナク、政府ガ或ハ豫算案ヲ

提案シ、法律案ヲ提案シ、議會ガ之ヲ審議
協賛致シマスル其經過、竝ニ結果ニ關シマ
シテハ、國民ガ重大ナル關心ヲ有テ居リ
マスルコトハ、當ニソレガ國民生活ニ關係ア
ルノミナラズ、又ソレニ依テ政府ノ向後
一年ノ國策ヲ判斷シ得ルニ止ラズ、國民ガ
國民ノ代表者ヲ通ジテ、國民自ラガ審議協
賛シタリトノ合法的、法律的事實ヲ形成ス
ル所ニ、本院ノ審議及ビ協賛ノ重大點ガア
ルト言ハナケレバナリマセヌ(拍手)其前提
トナリマスルモノハ、政府ガ純粹公正、私
心無ク、國策ノ爲ニ案ヲ提案シ、本院ガ純
粹公平、國策ノ立場カラ、此諸般ノ案ヲ審
議協賛致シマスルコトガ、是ガ重大ナル前
提デアリマス(拍手)然ルニ政府及ビ本院ニ
對シマシテ、岡本議員ノ二月八日ノ御演説
ガ、端ナクモ本院及ビ政府ニ對シテ重大ナ
ル侮辱ヲ與ヘ、其内容ヲ檢討スル查問會ノ
動議ガ出マシタル以上ハ、私カニ恐ル、所
ハ、僅カ十八名ノ委員ヲ以チマシテハ、世
上所謂小サナ部屋デノ會議ト相成ル結果ニ
ナルコトヲ恐ル、ノデアリマス、故ニ吾々
ハ本院ノ名譽ニ關スル問題ハ、若モ事誤リ
アルナラバ、岡本君ヲ除名スルモ、懲罰ス
ルモ宜シイ、又若シ此事ニシテ、本院或ハ
政府ノ名譽ニ關スルコトガアルナラバ、其
審議竝ニ經過ハ、普ク國民ヲシテ之ヲ知ラ
シムル爲ニ、寧ロ更ニ大キイ數ノ委員ヲ以
テ、本查問會ヲ構成セラレンコトヲ要望ス
ルモノデアリマスルガ故ニ、十八名ヲ少數
ナリトシテ反對シ、吾々ハ多數ノ委員會ヲ
飽迄モ主張スルコトヲ表明致シタイと思フ
モノデアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 討論ハ終局致シマシ

タ、是ヨリ採決致シマス、谷原公君提出ノ
動議ヲ採決致シマス、本動議ニ賛成ノ諸君
ノ起立ヲ求メマス
〔賛成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立多數、仍テ本動議
ハ可決セラレマシタ(拍手)次ニ江藤君提出
ノ動議ハ、谷原君提出ノ動議ト、其趣旨、
目的全ク同一ノモノデアリマスルニ依リ、
谷原君提出ノ動議議決ノ結果トシテ、議決
ヲ要セザルモノト認メマス

此際一言致シマス、龜井貫一郎君ヨリ議
事進行ノ發言トシテ、二月八日本會議ニ於
ケル岡本議員ノ不穩ナル演説ニ對シテ處理
ヲ爲スニ非ザレバ議事ヲ進行シ得ズトノ議
事進行ノ發言ニ付キ、通告ニ接シテ居リマ
スルガ、既ニ谷原公君提出ノ動議ガ可決セ
ラレマシタル以上、議長ハ最早其必要ナシ
ト認メ、龜井君ノ議事進行ノ發言ハ之ヲ許
可致シマセヌ、是ヨリ日程ニ入リマス、日
程第一、原蠶種管理法案ノ第一讀會ヲ開キ
マス——農林政務次官子爵織田信恒君

第一 原蠶種管理法案(政府提出)

第一讀會

原蠶種管理法案

原蠶種管理法

第一條 政府ハ蠶種ノ統制ヲ圖ル爲原蠶
種ノ製造ヲ管理ス

第二條 本法ニ於テ原種トハ原蠶種ニシ
テ普通蠶種ノ製造ニ用フルモノヲ謂ヒ
原原種トハ原蠶種ニシテ原種ノ製造ニ
用フルモノヲ謂フ

第三條 原原種ノ製造ハ政府之ヲ行フ
政府ハ其ノ製造ニ係ル原原種ヲ府縣ニ
配付ス但シ第九條第一項ノ許可ヲ受ケ

タル蠶種製造者ニ之ヲ配付スルコトヲ
得

第四條 前條ノ規定ニ依リ政府ノ製造配
付スベキ原原種ノ品種ハ蠶品種審査會
ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ定ム
蠶品種審査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ
定ム

第五條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政
府ヨリ配付セラレタル原原種ヨリ產出
シタル繭ヲ用ヒテ原種ヲ製造シ蠶種製
造者ニ之ヲ配付スベシ

前項ノ規定ニ依ル原種ノ製造及配付ニ
關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但
シ國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ
範圍內ニ於テ府縣ニ對シ其ノ原種製造
設備ニ要スル經費ノ二分ノ一以內ヲ補
助スルコトヲ得

第六條 政府又ハ府縣ハ第三條、前條第
一項又ハ第十二條ノ規定ニ依リ配付ス
ル原原種又ハ原種ニ對シ勅令ノ定ムル
所ニ依リ料金ヲ徵收スルコトヲ得

第七條 原原種及原種ノ配付ニ關シ必要
ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 蠶種製造者ハ原蠶種ヲ製造スル
コトヲ得

第九條 蠶種製造者ハ前條ノ規定ニ拘ラ
ズ原種ノ製造ニ限リ命令ノ定ムル所ニ
依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ爲スコ
トヲ得

前項ノ場合ニ於テハ政府ヨリ配付セラ
レタル原原種ヨリ產出シタル繭ヲ用フ
ルニ非ザレバ原種ヲ製造スルコトヲ得
ズ

第一項ノ許可ヲ受ケ製造シタル原種及
其ノ蠶兒ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ

命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可
ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 蠶種製造者ハ府縣ヨリ配付セラ
レタル原種又ハ前條第一項ノ許可ヲ受
ケ製造シタル原種ヨリ產出シタル繭ヲ
用フルニ非ザレバ普通蠶種ヲ製造スル
コトヲ得ズ

蠶種製造者ハ府縣ヨリ配付セラレタル
原種及其ノ蠶兒ヲ讓渡スコトヲ得ズ但
シ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ許
可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 蠶種製造者普通蠶種ヲ製造セ
ントスルトキハ主務大臣ノ定メタル交
配形式ニ依ルベシ
主務大臣前項ノ交配形式ヲ定メントス
ルトキハ蠶品種審査會ノ議ヲ經ルコト
ヲ要ス

第十二條 天災其ノ他不可抗力ニ因リ原
種ノ製造又ハ配付ヲ爲スコト能ハザル
場合ニ於テハ府縣ハ主務大臣ノ許可ヲ
受ケ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケ之ヲ蠶
種製造者ニ配付シ又ハ政府ヨリ原原種
ノ配付ヲ受ケ之ヲ原種トシテ若ハ既ニ
配付ヲ受ケタル原原種ヲ原種トシテ蠶
種製造者ニ配付スルコトヲ得

第十三條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ
移出ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣
ノ許可ヲ受ケタルニ非ザレバ之ヲ爲スコ
トヲ得ズ

第十四條 主務大臣ハ蠶種製造者ニ對シ
蠶種ノ統制上必要ナル事項ヲ命令ズルコ
トヲ得

第十五條 主務大臣必要アリト認ムルト
キハ第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶
種製造者ニ對シ設備ノ改善ヲ命ジ其ノ

他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十六條 第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十七條 當該官吏吏員取締上必要アリト認ムルトキハ蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ノ事務所、營業所、製造場、倉庫等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得

主務大臣又ハ地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏吏員ヲシテ前項ニ掲ゲタル場所ニ臨檢シ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之ヲ差押ヲ爲サシムルコトヲ得
臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス
主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條 第八條、第九條第二項第三項、第十條、第十一條第一項又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス
第十九條 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者

二 第十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル職務ヲ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者

三 第十七條第四項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者
第二十一條 第十八條ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ若ハ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザル場合ハ其ノ價額ヲ追徴ス
前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得

第二十二條 蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得

第二十三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付命令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶絲業法第二條中「稱スルハ」ノ下ニ「府縣ヲ除クノ外」ヲ加フ

蠶絲業法第七條ヲ削除ス

蠶絲業法第十條中「蠶種製造者」ヲ「府縣及原蠶種管理法第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者」ニ改ム

蠶絲業法第十一條ノ二ニ左ノ一項ヲ加フ
府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ檢査ヲ行フベシ

蠶絲業法第十二條中「及第十七條ノ檢査ニ合格シタル蠶種」及「原蠶種又ハ」ヲ削除ス

蠶絲業法第十八條及第二十四條ヲ削除ス
蠶絲業法第三十七條第一項中「本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令」ヲ「本法若ハ原蠶種管理法又ハ之ニ基キテ發スル命令」ニ改ム

蠶絲業法第三十九條第三號ヲ削除ス
蠶絲業法第四十一條第一項中「第三號」ヲ削除ス

〔政府委員子爵織田信恒君登壇〕
○政府委員〔子爵織田信恒君〕 原蠶種管理法案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、由來我國蠶絲業ハ、海外ニ於ケル生絲需要ノ増加ニ刺戟セラレマシテ、増産ノ一途ニ進ミ來タノデアリマスガ、近年ニ至リ海外機業ノ進歩ニ依リマシテ、優良齊一ナル生絲ガ益、要望セラレマスト共ニ、一面人絹絹絲工業ノ異常ナル躍進ニ直面致シマシテ、故ニ

生絲品位ノ向上ト、生産費ノ低減トニ依リマシテ、本邦蠶絲業ノ更正ヲ策スルノ要、極メテ切實ナルモノアルヲ痛感セラレルニ至リタノデゴザイマス、然ルニ現在我國ニ於キマシテ飼育セラレマスル蠶品種ハ、其數ガ實ニ約六百種ヲ算シ、雜駁混淆ヲ極メ、隨テ繭及ビ生絲モ亦區々不整ナルヲ免レナイ狀態ヲノデゴザイマス、是ガ爲メ養蠶者ハ作柄ノ不安定ト、出費ノ増大ニ悩ミマシテ、蠶種製造者ハ無謀競爭ト蠶種過剩ノ弊ニ苦シミ、生絲業者ハ原料繭ノ雜駁ニ伴フ繰絲能率ノ減退ト、生絲品質ノ不整ニ煩ハサレツ、アルノデアリマシテ、此狀態ヲ以テ致シマシテハ、容易ニ品質ヲ改善ト生産費ノ低下トハ期シ難イノデゴザイマス、加之、今後我國蠶絲業ハ、各業ニ互リ、統制的施設ヲ講ズルノ要益、緊切ナルモノガアルノデゴザイマスルガ、生産ノ根源タル蠶種ニ付テ適當ノ統制ヲ講ズルニ非ザレバ、所期ノ效果ヲ收メ難イノデゴザイマス、政府ハ夙ニ優良蠶品種ノ選出、育成並ニ是ガ配付普及ニ銳意努力ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、而モ尙ホ原蠶種ノ製造ヲ民間當業者ニ委ネルニ於キマシテハ、到底是等ノ目的ヲ達成シ難イノデアリマスカラ、故ニ原蠶種ノ製造ヲ國家ニ於テ管理シ、尙ホ必要ニ應ジ蠶種ニ關スル統制施設ヲ爲シ得ル制度ヲ樹立致シマスルコトハ、刻下ノ急務デアルト認メマシテ、今般原蠶種管理法ヲ制定シテ、蠶種ノ統制、原蠶種ノ製造管理ヲ行ハントスルモノデゴザイマス、而シテ本法案ノ骨子ト致シマスル所ヲ申上ゲマスレバ、第一ガ原原種ノ製造ハ、國家ガ之ヲ管掌スルコトデアリマス、第二ガ、原種ノ製造ハ、道府縣並ニ自家用原種製造ノ許可ヲ受ケタ

ル蠶種製造者ニ限テ、政府ノ製造配付セル
原蠶種ヲ用ヒテ、之ヲ製造セシメルコトデ
アリマス、第三ガ普通蠶種ハ蠶種製造者ヲ
シテ、道府縣並ニ自家用原蠶種製造ノ許可ヲ
受ケマシタル蠶種製造者ノ製造シタル原蠶
ヲ用ヒ、主務大臣ノ定メタル交配形式ニ依
リマシテ、之ヲ製造セシメルコトニシタ
デアリマス、第四ガ蠶種ノ輸移出入ヲ許可
制度トシタコトデアリマシテ、第五ガ更ニ
蠶種ノ統制ニ關シ、當業者ノ自治の方法ニ
依リ、十分ナル效果ヲ期シ得ザル非常時ニ
於キマシテハ、之ニ對シテ政府ニ於テ統制
ヲ命ジ得ルコト、致シタノデゴザイマス、
何卒速ニ御審議ノ上御協賛アランコトヲ切
望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ニ對シテハ多數ノ
質疑通告ガアリマス、順次之ヲ許シマ
ス——加藤知正君

〔加藤知正君登壇〕

○加藤知正君 私ハ只今提案ニナリマシタ
原蠶種國家管理法案ニ付キマシテ、茲ニ政
府當局ニ對シ數項ノ質問ヲ致シテ見タイト
思フ者デアリマス、諸君、原蠶種國家管理
ノ目的ハ何處ニアルカト申シマスレバ、本
法案ノ第一條ニ「政府ハ蠶種ノ統制ヲ圖ル
爲原蠶種ノ製造ヲ管理ス」トアリマシテ、本
法ノ目的トスル所ハ、原蠶種統制ノ力ニ依
リ、優良蠶種ノ統一普及ヲ圖リ、優良蠶種
安價ニ生産シ、優良蠶種ノ安價生産ニ依リテ
優良生絲ヲ安價ニ生産シ、優良生絲ノ安價
生産ニ依リテ、我が消費者ニヨリ多クノ滿
足ヲ與ヘル、一縷ノ絹絲、一本ノ生絲タリ
トモ、餘計ニ澤山ニ需要セタイト云フノ
デアリマスカラ、之ヲ端のニ申シマスナラ
バ、原蠶種ノ國家管理總局ノ目的ハ、生絲

ノ需要増進ニ在リト申シマシテモ宜シイノ
デアリマス、併ナガラハ獨リ原蠶種ノ國
家管理ノミデハアリマセヌ、蠶桑ノ改良ト
云ヒ、製絲法ノ改善ト云ヒ、蠶病ノ取締ト
云ヒ、蠶業ノ教育ト云ヒ、近來又喧シク論
議セラル、生繭取引ノ禁止トカ、乾繭取引
ノ確立トカ、委託製絲組合ノ結成トカ、所
謂蠶絲業上ノ諸問題ハ、皆其終局ノ目的ガ
本邦生絲ノ需要増進ニ存スルコトハ、今敢
テ敷々ヲ要セザル所デアリマス、果シテ
然ラバ蠶絲國家策ヲ立テ、蠶絲業上諸
般ノ施設ヲ爲サント欲スルナラバ、
生産者ノ聲ヨリモ先ヅ第一ニ聞カネバナラ
ヌノハ、消費者ノ聲デアリマス、本邦蠶絲
業者ノ聲ヨリモ、米國絹業者ノ聲ヲ聞カ
ネバナラスノデアリマス、即チ消費者タル
米國絹業者ノ聲ヲ聞イテ立テタル政策ヲ施
設デナケレバ、如何ナル政策施設ト雖モ、
到底満足ノ效果ヲ收ムルコトハ覺東ナイコ
ト、存ズル次第デアリマス、知ラズ我が政
府當局ハ、本邦生絲ノ最大華客デアリ、需
要者デアリ、消費者デアリ米國絹業者ガ、
最近ニ於テ如何ナル叫ビヲ致シテ居ルカト
云フ、所謂其絹業者ノ聲ナルモノヲ御存ジ
デアルカドウカト云フコトニ付キマシテ、
私ハ大ニ疑問ヲ有タザルヲ得ヌノデアリマ
ス、何トナレバ若シ政府當局ニシテ、農林
大臣ニシテ、米國絹業者ガ如何ナル叫聲ヲ
擧ゲツ、アルカト云フコトヲ御聞キナリ
マシタトスルナラバ、何故ニ本期議會ノ勞
頭ニ於テ、一日モ忽セニスルコトノ出來ナ
イ絲價安定ニ關スル法律案ヲ提出シ、之ニ
要スル經費ヲ昭和九年度ノ本豫算ニ計上セ
ラレナカッタノデアルカ、又米國ニ於ケル内
外人ノ最モ重キヲ置イテ居ル所ノ、生絲宣

傳ニ關スル費用ヲ何故ニ閑却シテ、一文タ
リトモ之ヲ要求セラレナカッタノデアルカ
(拍手)又米國絹業者ノ最モ喧シク言テ居
ル所ノ絲條斑ノ改良ニ要スル(議長定數ヲ
缺イテ居リマス)ト呼フ者アリ(根本的ノ施
設ヲ立テ、之ニ要スル經費ヲ要求セラレナ
カッタノデアルカ、此冷淡極マル態度ヲ觀ル
ト、政府當局ハ米國絹業者ノ聲ハ聞イテ居
ラレナカッタモノト斷ズルヨリ外ニ途ハナイ
ノデアリマス(拍手)私ハ米國ノ絹業者ガ我國
ノ生絲ニ對シ如何ナル叫ビヲ致シテ居ルカト
云フコトヲ、是非此場合ニ於テ申上ゲナケ
レバナラスコトニ相成タコトヲ、頗ル遺憾
ニ思フノデアリマス(拍手)抑、私共ハ昨年八
月生絲使節トシテ渡米シ、紐育絹業協會ニ於
テ米國側ノ委員ト會見シタノデアリマスガ、
其際協會會長「ゴールド・スミス」氏ハ斯様
ニ申シタノデアリマス「今ヨリ數年前迄ハ
吾々ハ皆日本ノ生絲ヲ使ツテ、一本ノ人絹
モ使ハナカッタノデアアル、ソレガ今日デハ殆
ト人絹ヲ使ハヌ者ハ一人モ無イノデアアル、
唯口デノミ左様申シマシテモ、御疑ナサル
デアリマセウカラ、一々書出サシテ御覽ニ
入レマス」ト言フテ、米國側委員ニ「ベ
ー」ヲ配付シ、人絹使用ノ割合ヲ書出サシ
タノデアリマスガ、之ニ依ルト其人絹使用
ノ最モ多イノハ七八割、其少イモノモ二三
割デアッタノデアリマス、是ニ於テカ「スミ
ス」氏ハ申シマシタ「之ヲ御覽下サイ、本日
此處ニ集マラレタ委員ノ方デサハ此通りデ
アルガ、委員外ノ絹業者ノ中ニハ、全部人
絹ニ轉向シタ者モアリ、又將ニ全部轉向セ
ントシツ、アル者モ少クナイノデアリマ
ス、何ガ故ニ斯様ナ狀態ニナッタノカ、是ハ
言フ迄モナク日本生絲ノ絲價ノ不安定ト、

絲條斑ノ不良ト、更ニ何等ノ宣傳ヲモナサ
ス爲デアアル、今度アタタ方ハ能、此處マデ
御出デニナッタガ、直チニ宣傳ニ著手ガ出
來マスカ」ト言フタノデアリマス、併ナガラ
其場合、殘念ナガラ私共ハ直チニ宣傳ニ著
手スルトハ言ハレナカッタノデアリマス、何
トナレバ此宣傳ニハ少ナカラザル費用ヲ要
シ、而モ其費用ノ出所ガ未ダ決定シテ居ラ
ヌ爲ニ、何トシテモ直チニ著手スルトハ答
ヘルコトガ出來ナカッタノデアリマス、是ニ
於テカ私共ハ「宣傳ノコトハ吾々大ニ其必
要ハ認メテ居リマスガ、費用ニ關係ノアル
コトデアリマスカラ、明年三月以後ニアラ
ザレバハ、キリト致シタ御答ハ致シ難スル」
ト申シタノデアリマス、所ガ「スミス」氏ガ
「サウカ、左様ナ悠長ナコトヲ言フテ居ル間
ニ、騰ヲ噬ンデ後悔シテモ及バヌコトニ
ナリハセヌカ、先年吾々ハ日本ヘ行ツタコ
トガアル、其時ニ到ル處ノ停車場デ蠶絲
業ノ方々ガ大ニ歡迎シテ下サレタコト
デアアルガ、今度吾々ガ日本ヘ行ツタ其時ニ、
蠶絲業ノ方々ハ委ヲ消シテ、人絹會社ノ方ガ
吾々ヲ歡迎シテ下サルヤウナコトダケハナ
サラヌヤウニ御願致シタイ」ト云フ皮肉タ
ブリノコトヲ言フタノデアリマス、ソコデ私
共ハ「生絲ノ賣レルト云フコトガ總テハ絹
織物ノ賣レルトコトニナルノダカラ、是ガ宣
傳費ハ亞米利加ノ絹業者ノ方ニ於テ出サレ
タイ」ト云フコトヲ言フタ、其事ニ對シ「ス
ミス」氏ガ申シマスニハ「ソレハ飛ンデモナ
イコトデアアル、吾々ハ宣傳費マデモ出シテ
日本ノ生絲ヲ使ハネバナラヌ必要ハ、今日
少シモ之ヲ認メテ居ラナイノデアアル、人絹
ノ發達セル今日ニ於テハ、敢テ日本ノ生絲
ニ限ツテ譯デハナイカラ、アタタ方ガ生絲ヲ

賣リタイト思フタナラバ宣傳ナサルガ宜シ、賣リテモ賣ラナクテモ宜シト云フコトナラバ、如何様ニナリト爲サルガ宜イト、劍モホロノ挨拶ヲシタノデアリマス、併シ絹業協會ト別團體デアル「インターナショナル・シルク・ギルド」ノ人達ハ「人絹」ノ方デ有ユル手段方法ヲ以テ盛ニ宣傳ヲ行ヒ「レーヨシ」ト云フ觀念ヲ一般ノ人々ニ與ヘテ居ル今日「シルク」ノ方デ宣傳モ何モセズニ、一般ノ人々カラ「シルク」ヲ忘レサセルト云フコトニナレバ、他日取返シノ付カヌコトニナルカラ、此際吾々「シルク」擁護者ノ一團ニ於テ二万五千弗出スカラ、日本ノ方デモ五万弗出シテ共ニ宣傳ニ著手シテ、大ニ日本デ宣傳ヲヤル心持ノアルト云フコトダケヲ、此際米國ノ絹業者ニ知ラシテ置カウデハナイカ」ト云フコトデアリマシテ、取敢ズ其手段ダケハ盡シテ歸タノデアリマスガ、更ニ私共ハ紐育以外ノ機業家ガ如何様ナル考ヲ有テ居ルカト云フコトヲ確ムベク、出來ルダケ多クノ人々ニ接シ、其意見ヲ叩イタノデアリマスガ、皆「ゴールド・スミス」氏ノ言ツタト同ジヤウナコトヲ申シテ居ルノデアリマス、今其代表的ナモノヲ一二申上ゲマスナラバ、市俄古方面ノ其有力ナル絹業者デアリマスガ、其絹業者ガ私共ノ質問ニ對シ、如何ナルコトヲ申シタカト云フコトヲ聽イテ戴キタイノデアリマス、即チ「折角ノ御尋デアルカラ、遠慮ノ無イ所ヲ申シマス」ト前提シテ「何ガ故ニ日本ハ生絲ノ亂高下ヲ防止セヌカ、吾ガ日本ノ生絲ヲ買ヘバ下ガリ、買ヘバ下ガルト云フ爲ニドレダケ迷惑ヲ致シテ居ルカ分ラナイ、米國ノヤウナ自由ノ國デサヘモ、産業復興法ト云フヤウナ法律ノ力ヲ以

テ、重要産業ノ統制ヲ圖ラウト云フノニ、日本ハ生絲ヲ一國ノ生命ト爲シナガラ、何ガ故ニ速ニ是ガ統制ヲ圖リ、絲價ノ安定ヲヤラナイノデアルカ、吾々ハ絲價サヘ安定スレバ、縱シ値ハ高クトモ買ハネバナラスモノハ必ズ買フカラ、一日モ速ニ絲價ノ安定ヲセラレタイ、殊ニ各纖維、就中「レーヨシ」ノ如キハ極力宣傳ニ力ヲ入レテ、販路ノ擴張ヲヤツテ居ルデハナイカ、然ルニ生絲ニ於テハ宣傳ニ何等ノ力モ入レテ居ラナイ、才負ケニ絲價ハ依然トシテ改良ヲナサルカ、當ニ其絲質ノ改良ガ日進月歩デアルバカリデナク、常ニ吾々ノ良キ友達トナツテ、アノ「スタイル」此意匠ト痒イ所ヘ手ノ届クヤウニ世話心配ヲ致シテ呉レテ、少シデモ惡イ品ハ直チニ取換ヘテ呉レルト云フヤウニ、宣傳ト「サーヴィス」ニ全力ヲ擧ゲテ居ル、サレバ米國ノ絹業者ガ生絲ヲ捨テ、人絹ニ走ルハ當然デハナイカ、之ヲ今日ノ儘ニ拾置カバ、遂ニハ日本生絲ハ亞米利加ノ人カラ忘レラレテシマフコトニナルデセウト、思切タコトヲ言ツタノデアリマス（拍手）ソレカラ「ボストン」在ノ「スキナー」工場ヲ觀察シタ際ニ「スキナー」氏ハ如何ナルコトヲ言ツタカト申シマスレバ、同氏ハ前年二回マデモ日本ヘ來タコトノアル人デ、大變日本最良ノ人デアリマスガ、吾々ノ一行ガ同氏ノ所ヘ參リマス、能ウコソ御出デ下サレマシタ、本日ハ私ノ工場ヲ隅カラ隅マデ御覽ニ入レマス、休ンデ居ル機臺モ、働イテ居ル機臺モ皆御目ニ懸ケマストデ、機臺ノ二千臺モアルト云フ大工場ヲ一々案内ヲシテ、最後ニ或ル一室ヘ導イテ、此處ニ積ンデアルノハ人絹ノ織機デ

アル、マダ私ノ處デハ今日マデハ一本ノ人絹モ使ハヌガ、併シイッ何時デモ人絹ニ乗移ルト云フ用意ノアルト云フコトダケハ、能ク見テ行テ戴キタイト申シナガラ、事務所ヘ戻ルト、親子ノ「スキナー」ト其支配人ト三人ゾロリト竝ビ、吾々ノ一行ト相對シナガラ「スキナー」氏ハ次ノヤウナコトヲ言ツタノデアリマス、私ノ工場ハ日本ノ方ガ澤山イラシヤルカラ、其方々ニ「シルク」宣傳ノ急務ヲ説イテモ、更ニ今日マデ何モナサラナイ、今度アナタ方ハ態々米國ヘイラシヤタノデアアルガ、生絲ノ宣傳ハ本當ニ爲サルノデスカ、人絹ガ今日斯ノ如キ進出ヲシタト云フコトモ皆アナタ方ノ罪ガアル、先般松岡全權ガ歐羅巴カラ米國ヘ御出デノ際、市俄古ニ於テ大歡迎會ガ開カレ、私ハ偶、「メンテール」ヲ共ニシマシタカラ、松岡全權ニ對シ、日本ハ何故ニアナニ人絹ヲ造ルノカト聞イタ所、ナニ日本ハ人絹デモ生絲デモ輸出サヘスレバ宜イノヂヤト言ハレタカラ、私ハ更ニ問ウタノデアアル、生絲ノ背後ニハ澤山ノ農民ガ控ヘテ居ルト云フガ、是ハドウナサル積リデアアルカト問ウタ所、松岡全權ハ其時笑ツテ答ヘナカッタノデアアル、私共ハ家ヘ歸ツテ政治家モ宜イガ、農民ノコトヲ心配セヌ政治家ニモ困タモノデアルト、互ニ話合ツタノデアアルト歎息シテ居タノデゴザイマス、而シテ尙ホ「スキナー」氏ハ此事ニ付テ念ヲ押シテ、今日アナタ方ハ私ノ所ヘ御出デ下サレマシタガ、能ク工場ヲ御覽ニナツタ結果如何ヤウニ御考ニナツタカ、又私ノ此間ニ對シテ、如何ナル所ノ御答ヲ下サルカト云フコトデアリマシタカラ、ソコデ私ガ如何ニモ御親切ニ言ツテ下サレ、洵ニ有

難イ、吾々モ多數ノ農民ノコトガ心配ノ爲ニ態、御國マデ參タノデアアルガ、何ナリト御氣付ノ點ハ御遠慮ナク言ツテ戴キタイト申シタノデアリマス、以上ノ話ヲ御聞下サレマシタナラバ、如何ナル狀態ニ我國ノ生絲ガ置カレテアルカト云フコトガ、略、御推察ガ出來ルデアラウト思フノデアリマス、實際亞米利加ニ於ケル内外人ハ誰一人トシテ生絲ノ前途ヲ悲觀セヌ者ハゴザイマセヌ、之ヲ此儘ニシテ置ケバ、生絲ノ前途ハ滅亡ヲ迎ルヨリ外ニ途ハナイト、異口同音ニ申シテ居ルノデアリマス、昨年來第六十四議會ニ於テ後藤農林大臣ハ私ノ質問ニ對シ悲觀モシナケレバ樂觀モシナイト言ハレマシタガ、今日尙ホ且左様ニ考ヘテ居ラルカドウカ、本日ハ後藤農相ハ御病氣ノ爲ニ御出席ガゴザイマセヌケレドモ、私ハ此事ヲ敢テ農相ニ御聽致シタイノデゴザイマス、若シ今日尙ホ悲觀モシナケレバ樂觀モシナイト云フヤウニ考ヘテ居ラル、トスルナラバ、私ハ後藤農相ノ心理狀態ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、何トナレバ生絲ノ最大消費地タル米國ノ内外人ノ悉クガ、皆生絲ノ前途ヲ非常ニ悲觀シテ居ルノニ、農相一人ガ悲觀モシナケレバ樂觀モシナイト澄シ込ンデ居ラル、其理由ガ、私ニハドウシテモ解セナイノデアリマス、蓋シ悲觀モシナケレバ樂觀モシナイト云フ意味ハ、泰然トシテ腰ヲ抜カシテ居ルト同一意味デアルトスルナラバ、我亦何ヲカ言ハンヤデアリマス、併シ私ハ斯様ニ考ヘマス、農相ノ悲觀モシナケレバ樂觀モシナイト言ハレタ意味ハ、此儘ニシテ置ケバ如何ニモ悲觀シナケレバナラナイガ、併シ之ニ對シテ適當ナル對策ヲ講ズレバ決シテ悲觀スルニ及

バナイト、斯様ナ意味デ申サル、コト、思ヒマスルガ、如何デアリマセウカ、若シ此解釋ニシテ間違ナイトスルナラバ、農相ハ何故ニ此際適當ナル對策ヲ樹テ、此議會ニ臨マレナカ、タノデアルカ、唯僅ニ乾藹共同助成費ノ増額ヤ、原蠶種ノ國家管理案ノ如キヲ携ヘテ臨マレタバカリデアッテ、大切ナル生絲販賣統制案ノ如キハ、影ダニモ見ルコトガ出來ナイデアリマセウカ(拍手)斯ク申シマシタナラバ、今折角生絲販賣統制調査會ヲ審議中デアルト言ヘル、デセウガ、是ハ泥棒ヲ捕ヘテ繩ヲ縛フノ類デアリマシテ、此議會ニ間ニ合フカドウカト云フコトヲ思ハザルヲ得ナイデアリマセウカ、兎ニ角如何ニモ暢氣ノ話デアルト申スヨリ外ハナイデアリマセウカ(拍手)而シテ宣傳費ノ如キハ全ク一文モ計上セラレテ居ラナイデアリマセウカ、是ハ一體ドウシタコトデアリマセウカ、此販賣統制ト宣傳ノ二ツハ急務中ノ急務デアルト言テ居ルノハ獨リ米國ノミデアリマセウカ(ヒヤ)「歐羅巴ニ於テハ尙ホ一層喧シタ言ハレテ居ルデアリマセウカ、彼ノ巴里ニ於ケル國際絹業協會ノ如キハ、佛國、伊國、西班牙、白耳義、獨逸、瑞西、英國等多少ナリトモ蠶業ガ出來ルカ乃至ハ絹織物ノ出來ル歐洲諸國ハ、ソレノ出資シテ生絲ノ宣傳ヲヤルコトニシ、昨年ノ春、佛國ノ「ジュニベル」氏ハ熊ミ我國ヘ此交渉ニヤッテ來タノデアリマセウカ、何事ニ依ラズ意見ハ多少違フモノデアリマセウカ、此絲價ノ安定ト生絲ノ宣傳ト云フコトニ付テハ、歐米各國誰一人トシテ其必要ナシナド、云フ人ハ一人モナイデアリマセウカ、否何人モ急務中ノ急務デアアルト説カヌ者ハ一人モナイデアリマセウカ、

然ルニ世界第一ノ生絲生産國デアル、我國ノ政府當局ガ、蠶絲ノ危機急ヲ告グル今日ニ於テ、以上ノ對策ヲ怠リ、就中何ヲ措イテモヤラネバナラス生絲ノ宣傳ヲ「ブローカー」ノ喰物デアルトカ、外人ニ騙サレルノデアルトカ言テ、其宣傳費ヲ出シ澁ルガ如キハ、其眞意ノ存スル所、一體何處ニ在ルカト申上ゲタイノデアリマセウカ(拍手)世間ノ人ハ今ノ内閣ヲ非常時内閣ト言テ居リマセウカ、内閣諸公亦非常時ナリト絶叫セラレテ居リマセウカ、蠶絲業ノ危機、斯ノ如キモノアルヲ差措イテ、何處ニ一體非常時ト稱スベキモノガアルデアリマセウカ、蠶絲一度ビ減ビシカ、忽チ農村經濟ノ破滅トナリ、是ガ即チ國家經濟ノ破壞トナルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマセウカ(拍手)斯クシテ軍備ハ如何ニ充實スルモ、是デ一國ノ存立ヲ全ウスルコトガ出來ルデアリマセウカ(ヒヤ)「非常時内閣ヲ以テ自ラ任ズル今ノ齋藤内閣ガ、危機迫レル蠶絲業ニ對シ全ク無爲無策デ唯僅ノ膏藥貼リノ應急對策ヲ以テ、此議會ニ臨マル、コトヲ、私ハ國家ノ爲ニ返ス」モ遺憾ニ思フノデアリマセウカ(拍手)

諸君、以上申上ゲタヤウニ、實ニ今ノ内閣諸公ガ、海外ニ於ケル我生絲ガ如何ナル狀態ニアルカト云フコトニ於テ、何等ノ認識ヲ有セザルハ、唯驚クノ外ナイデアリマセウカ、若シ多少ナリトモ海外、殊ニ米國ニ於ケル我ガ生絲ニ對シ、幾分タリトモ認識ヲ有セザル、ナラバ、斯ノ如ク冷淡極マル態度ニハ出ラレナイコト、思フノデアリマセウカ、蓋シ是ハ米國ノ大使館ヤ、領事館其他カラ何等ノ報告ヲセナイ爲デアリマセウカ、報告ガアツテモ之ヲ見ナイ爲デアリマセウカ、將又聞カナイ爲デアリマセウカ、之ニ付テ是非私ハ御聞キヲ願ハネバナラスコトガデアリマセウカ、ソレハ外デアリマセウカ、紐育ニ於ケル日本人會ニ於テ、私共一行ノ歡迎會ヲ開イテ吳レタ、其席デ今井、時ノ團長ガ蠶絲對策ニ關シ、五ツノ案ヲ立テテ、之ニ對スル意見ノ發表ヲ求メラレタノデアリマセウカ、スルト新井領一郎ト云フ人ガ起テ、アナタ方ハ昨日ヤ今日此紐育ヘ御出デニナツテ、直チニ此處ノ真相ヲ知ラウト云フコトハ、恰モ群官ノ大象ヲ撫スルト同ジ結果ニ終ルデアラウカラ、少クモ三箇月ヤ四箇月滞在シテ、能ク調査セラル、ガ宜シイト言ハレタカラ、ソコデ私ハ起テ言テ、タノデアリマセウカ、新井氏ノ言ハル、コトハ如何ニモ御尤デアアル、併ナガラ吾々ノ事情ハ遺憾ナガラ之ヲ許サナイ、此席ニハ少クモ三年ヤ五年、長キハ二十年以上モ居ラル、方ガオ出デニナルコトデアアルカラ、其方々カラ一口ツ、ナリトモ「エキス」ノアル所ヲ伺ヘバ宜シイデアアル、之ニ依リテ吾々ハ國ヘ歸リ、蠶絲國策ヲ樹テタイト思フノデアアル、一體日本ノ生絲ガ、斯ク迄ニ急迫ヲ告ゲテ居ヤウトハ思ハナシデアアル、實ヲ申セバ吾々ト雖モ日本ニ居ル際ニハ、近年兎角蠶絲ノ具合ノ惡イノハ、世界的不況、就中米國ノ不況ノ結果デアアル、米國ノ景氣サヘ恢復スレバ、蠶絲ノ前途ハ洋々タルモノガアル位ニ考ヘテ居タノデアアル、然ルニ米國ヘ來テ見レバ、案外ノ情勢ニ唯驚カザルヲ得ナイデアアル、斯クマデニ人絹ノ爲ニ追詰メラレテ居ル生絲ノ現狀ガ、何ガ故ニ疾クノ昔ニ日本ヘ報道セラレテ居ナカッタノデアアルカ、米國ニハ大使館アリ、領事館アリ、商務官アリ、而シテ紐育ニハ特ニ

農林省ノ出張所サヘ置カレテ居ルニモ拘ラズ、此真相ガ日本内地ヘ報道セラレズニ居ルトハ、何ト情ナイコトデアナイカ、恐ラク日本政府ノ當局中、一人トシテ此情ナイ真相ヲ知ル者ハアルマイ、何ノ爲ノ大使館デアアルカ、何ノ爲ノ領事館デアアルカ、何ノ爲メノ商務官カ、將又何ノ爲メノ農林省ノ出張所デアアルカ、實ニ怪シカラヌコトデアアルト申シタノデアリマセウカ、併シ今更既往ノコトヲ言テモ仕方ガナイ、假令遅レタリト雖モ、今茲ニ私共ガ此急迫ノ真相ヲ持歸リ、當局ニ之ヲ進言シ、是ガ對策ヲ講ジタナラバ、蠶絲業ヲ安全地帯ニ引戻スコト、又困難デモナカラウト思フト言テ、タノデアアル、此様ナ次第デアッテ見レバ、大使館以下ノ人々ノ責任迄モ問ハネバナラスコトニナルガ、ソレハ暫ク別問題トシテ、兎ニ角今ノ齋藤内閣ノ諸公ガ、米國ニ於ケル我生絲消費者、即チ米國絹業者ノ聲ヲ聞カズニ居ラル、結果ガ、先刻來申上ゲタヤウニ、如何ニモ悠長ノ態度ニ出テ居ラル、モノト解釋セザルヲ得ナイノデアリマセウカ、併シ今日我ガ蠶絲業ノ事態ハ、決シテ左様ナ悠長ヲ許シマセウカラ、速ニ米國絹業者ノ聲ヲ聽キ、之ニ依リテ最善ノ方策ヲ樹テ、是ガ難局打開ノ途ヲ講ゼラレタイト思フノデアリマセウカ(拍手)之ニ付テ政府當局ニ御致シタイノハ、第一本法蠶絲業百年ノ大計ハ、唯絲價ノ安定ヲ圖ルヨリ外ニ良策ハナイノデアアルガ、目下生絲販賣統制調査會ヲ審議中ノ、所謂幹事案ナルモノヨリモ、更ニ徹底シタル案ヲ此議會ニ提出スル考ハナイノデアアルカ、是モ調査、アレモ調査ト云テ居ル内ニ、日暮レテシマウノデアナイカ、此點ニ付テ政府ノ所見ノ在ル所ヲ伺ヒタイノデアリマセウカ

第二前述ノ如キ次第デ、生絲ノ宣傳ハ米國ニ於ケル内外人ノ熱望シテ已マザル所デアリマスガ、萬一此宣傳ヲヤラスト云フコトニナリマスルト、米國絹業者ニ非常ナル失望ヲ與ヘ、我ガ生絲ノ販路ニ一大打撃ヲ與フルコト、ナルカラ、此際萬難ヲ排シテヤラネバナラスト思フガ、斯クマデ申上、ガテモ尙ホ且政府當局ハ之ヲヤル必要ハナイト言ハル、ノデアリカ、若シ吾々ガ斯クマデ申シテモ、其必要ナシト言ハル、ナラバ、其理由ヲ伺ヒタイノデアリマス、併シ大ニ是ガ必要ヲ認メラル、ナラバ、是ガ宣傳ニ對シ政府當局ハ當業者ノ要望ヲ容レ、之ヲ助成スル御考ハナイカ、宣傳費ハ一箇年二百萬圓ヲ以テ之ヲ行ヒ、此中當業者カラ百萬圓支出シ、他ノ百萬圓ハ政府ノ援助ニ俟チタイト云フノデアリガ、此百萬圓ヲ追加豫算トシテ出ス考ハナイカ、新聞紙ノ傳フル所ニ依レバ、海外消費宣傳費ハ滯貨生絲ヲ賣却處分シテ、之ヲ支出スルト云フコトデアリルガ、是ハ事實デアルカドウカ、御伺シタイノデアリマス

第三生絲販賣統制ノ目的ヲ達スルニハ、生絲統制ヲ如何ニスルカト云フコトガ問題デアリガ、此點ニ付キ農相ハ如何ナル所見ヲ有シテ居ラル、カ、生産ノ統制ヲ行フニハ、養蠶實行組合ノ強力化ノ力ニ俟ツヨリ外ハナイト思フガ、此點ハ如何様ニ考ヘテ居ラレルノデアリカ

第四絲條改良ハ、原蠶種ノ國家管理ノミニ依テ解決スルコトハ出來ナイ、少クトモ其目的ノ達成ニハ蠶業指導員ノ力ニ俟タネバナラス、此指導員ニ對シ農相ハ如何様ニ考ヘテ居ラレルカ、是ハ先年來ノ問題デアアルニモ拘ラズ、未ニ是ガ解決ヲ見ルコト

ガ出來ナイ、是ニ於テカ吾々ハ政府當局ノ蠶絲業ニ對スル誠意那邊ニ存スルカラ疑ハザルヲ得ナイノデアリマスガ、此蠶絲業非常時ニ直面シテ政府當局ハ此問題ヲ如何ニ解決セントセラレルカ、此點ヲ御伺シタイノデアリマス

第五蠶絲業ガ今日ノ如ク急速ニ危機ヲ傳ヘラル、ヤウニナ、タノハ、要スルニ我ガ政府當局並ニ蠶絲業者ガ、消費地ノ事情ニ疎カリシ爲ニ招イタ結果デアルカラ、政府ハ官民ノ間カラ、年々適當ノ人ヲ選ンデ米國ノ絹業狀態ヲ觀察セシムル必要ガ大ニ在ルト思フノデアリガ、政府當局ハ此點ニ付テ如何様ニ考ヘテ居ラル、カ、此御説明ヲ承リタイ

第六絹織物消費稅撤廢ハ内地絹織物使用獎勵上、否我ガ蠶絲業救済ノ爲ニ、當然過ギル程當然ヤラネバナラストコトデアル、大藏當局ハ此點ヲ如何様ニ考ヘテ居ラル、カ、縱令我ガ蠶絲業ハドウアラウガ、絹織物消費稅ハ飽迄撤廢スルコトガ出來ナイト云フ御考デアルカドウカ、此點ハ大藏當局ニ之ヲ御尋シタイノデアリマス、又農林大臣ヤ商工大臣ハ、此大藏當局ノ態度ヲ以テ是ナリト認メラレルカドウカ、若シ然ラズトスルナラバ、此際一肌脱イデ大藏當局ニ交渉セラレ、是非之ヲ撤廢セシメラレテ然ルベキト思フガ、此點ニ付テ農林、商工ノ兩大臣ノ所見ノアル所ヲ伺ヒタイノデアリマス

第七生絲ト人絹トノ歩合標示ハ世界的ニヤカマシイ問題トナリ、現ニ伊太利ノ如キハ絹ノ商標ニ關スル法律ヲ制定シテ嚴重ニ是ガ取締ヲ爲サントシ、我國ニモ之ヲ爲サシメタイト要望シテ來テ居ルノデアリマス、

又佛國ニ於テハ既ニ絹ノ商標ヲ作り、之ヲ法律化スベク今折角努力中デアリマス、我國ノ如キ生絲ヲ重要産業トシテ居ル國ニアリテハ、勿論大ニ其必要ヲ考ヘルノデアリマスガ、松本商工大臣ハ此點ニ於テ如何様ニ御考デアアルカ、御所見ノアル所ヲ伺ヒタイノデアリマス(拍手)

第八原蠶種國家管理ニ要スル費用ハ初年度ニ於テ僅ニ五十餘萬圓、翌年度ニ於テ六十餘萬圓ヲ計上セラル、ヤウナコトニ相成テ居リマスルガ、吾々ノ計算ト比較シマスルト、殆ド十分ノ一ノ費用デアアルガ、是デ能ク所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカドウカ

第九本法施行ノ結果蠶種ノ供給ニ不足ヲ告グルヤウナ虞ハナイカ、又政府ノ製造シタル原蠶種ニ依リテ製造シタル普通蠶種ガ、養蠶家ノ手ヘ渡リテ失敗シタル場合ハ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル責任ヲ負フ考デアアルカ、此點ヲ一ツ御伺シタイノデアリマス

第十本法施行ノ結果、民間ニ於ケル優良品種ハ跡ヲ斷チ、却テ蠶品種ノ退却ヲ招ク虞ガアリハセヌカト憂慮致シテ居ル當業者モ少クナイヤウデアリマスガ、此點ニ於テ政府當局ノ明答ヲ與ヘラレシコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス(拍手)尙ホ御尋シタイコトガ澤山ゴザイマスルガ、何レ委細ハ委員會ニ於テ御尋スルコトニ致シマシテ、此程度デ此壇ヲ降ル次第デアリマス

(答辯ハ委員會デヤレト呼フ者アリ)

○政府委員(子爵織田信恒君) 只今加藤君カラノ御質問ガアリマシテ、直接農林大臣ニ御聽キノ點モアルヤウデアリマスシ、尙

ホ最後ニハ委員會デ宜シイト云フ御話デ、或ハ却テ委員會デ緩クシト御話ヲ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマスガ、極ク簡單ニ概略ダケ申上ゲテ置キマス

最初ノ絲價安定政策ヲ立テナイカト云フ御質問デアリマスルガ、是ハ無論政府ト致シマシテモ、生産カラ販賣ニ互ル全體ノ政策ヲ立テタイト思、テ居ルノデアリマスガ、御承知ノヤウニ色々複雑ナ事情ガアリマシテ、可能ノ範圍カラ漸次ヤテ行クト云フヨリ外仕方ナイノデアリマス

其次ハ生絲ノ宣傳費ノ御話デアリマスルガ、是ハ丁度昨年ノ二月事務所ヲ繰育ニ設ケマシテ以來、向フト連絡ヲ取りマシテ其報告ヲ受ケテ居ルノデアリマス、少クトモ現在ノ市場ヲ維持スルト云フ意味カラ申シマシテモ、相當效果ノアルモノデアルト云フコトヲ吾々モ信ジテ居リマス、唯財政一般ノ關係ガアリマスノデ、目下財務當局ト交渉シテ居リマス、ソレカラ原蠶種ノ國家管理ノ費用ガ少イガ目的ヲ達シ得ルカ、是モ何レ詳細ハ委員會デ申上ゲマスガ、是デ以テ目的ヲ達シ得ルト信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ原蠶種ノ不足ヲ生ズルヤウナコトハナイカ、是モ法文ヲ御覽ニナリマスレバ、此點ニ付テモ心配ヲシテ色々案ヲ立テ、居ルノガ御分リニナルト思ヒマスガ、是モ委員會デ申上ゲマス、ソレカラ指導員ノ補助ハドウダト云フ御話デアリマス、是ハ先日カラ色々請願モアリマシテ、吾々モ此指導員ガ是等農村ノ更生ノ爲ニ必要ダト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマシテ、是モ財政一般ヲ考ヘテ出來ルダケノコトハ致シタイ、是モ交渉ヲ今續ケテ居ル次第デアリマス、概略デアリマスガ御答申上

ゲテ置キマス(拍手)

○議長(秋田清君) 加藤君宜シウゴザイマ
スカ——百瀬渡君

(百瀬渡君登壇)

○百瀬渡君 原蠶種國家管理法ノ上程セラ
レマシタ此場合ニ於キマシテ、本員ハ當局
ニ對シ數點ニ付テ質問ヲ試ミタイト存ズル
ノデアリマス(拍手)只今政友會ノ加藤君ヨ
リ本員ノ質問セントスル諸點ニ付テモ質疑
ヲセラレテアリマス、此場合其重複ヲ避ケ
マシテ、而シテ成ベク集約的ニ、簡單ニ質
問ヲ試ミタイト思ヒマス

本邦蠶絲業ノ現狀ニ鑑ミマシテ、其根本
政策ヲ樹立シテ、斯界ノ更生ヲ圖ルベキコ
トハ、斯業關係者ハ勿論、一般國民ノ等シ
ク認メル所デアリ、又等シク翹望スル所デ
アリマス(拍手)政府當局ガ今回蠶絲業對策
ノ一ツトシテ、原蠶種國家管理法ヲ御提
案ニ相成リマシテゴザイマスルガ、此國家
管理法案ハ五年ノ後ニ至ラザレバ、其法律
ノ内容ノ總テノ施設ガ完成シナイノデアリ
マス、隨ヒマシテ本員ハ寧ロ其御提案ノ遲
カリシコトヲ遺憾トスル者デアリ、又之ニ
伴フ所ノ蠶絲業關係ノ諸案ト併セ審議スル
ニ非ザレバ、其原蠶種國家管理法ノ目的ヲ達
成スルコトノ出來ナイヤウナ狀態ニ於カ
レテアル蠶絲業デアリマスルカラ、此點ニ付
キマシテ成ルベク當局ノ辯明ヲ要求シタ
イト思フノデアリマス(拍手)蠶絲業ノ現狀
ニ於キマシテ最モ痛切ニ其遺憾ヲ感ジマス
ルコトハ、先刻加藤君モ申サレタノデアリ
マスガ、絲價ノ安定セザル點デアリマス、
是ガ爲ニ製絲業者ハ勿論、一般養蠶家モ、
蠶種製造家モ、機械業ニ從事スル者モ等シ
ク其影響ヲ蒙リマシテ、常ニ不安ニ襲ハレ

ツ、經營ニ當テ居ルト云フ狀態デアリマ
シテ、殊ニ米國ニ於キマスル所ノ——海外
ニ於ケル需要地ニ於キマシテハ、日本ノ絲
價ノ不安定ニ對シマシテハ、口ヲ極メテ非
難ノ聲ヲ放チツ、アル狀態デアリマス、今
日我國ニ於キマスル所ノ天然絹絲ガ、人絹
進出ノ爲ニ非常ナル脅威ト壓迫ヲ受タルニ
至リマシタコトハ、其生産費ガ天然
絹絲ニ比較致シマシテ著シク低下ヲ
致シテ居ルコトハ、固ヨリ其主要原因デア
リマス、併シ又天然絹絲ガ常ニ價格ノ安定
ヲ缺キツ、アルコトモ、是亦爭フベカラ
ザル所ノ主要原因デアルト信ズルノデアリ
マス、隨テ絲價ノ安定ヲ圖リマスルニハ、
其根源デアリマス所ノ生産形態ノ統制ヲ確
立スルト共ニ、生産費ヲ低下スルデナケ
レバ、我國生絲ノ將來ハ洵ニ悲觀スベキ狀
態ニ置カレテアルノデアリマス(拍手)否、
洵ニ我國ノ蠶絲業ハ危機ニ直面シテ居ルモ
ノト言フテ差支ナイト思フノデアリマス、政
府ガ如何ニ原蠶種ノ國家管理法ヲ圖リマシテ
モ、原蠶種ノ國家管理法デハ此危機ヲ打
開スルコトハ出來ナイノデアリマスルコト
ハ、今更申ス迄モナイコトデアリマス、即
チ蠶絲業ハ栽桑、蠶種、養蠶、製絲、問屋、
輸出商等ノ異ナル種々ノ形態ニ分レマシ
テ、是等ノ利害關係ヲ等シウスル所ノ各業
者ガ、從來自己ノ立場ニノミ立籠テ、所謂
自己本位ノ主張ヲ固執シ、甚シキニ至リマ
シテハ互ニ嫉視反目致シテ、斯業ノ終局ニ
向テ歩調ヲ一ニシテ進ムト云フヤウナ、所
謂協調ノ觀念ニ乏シイノデアリマスルガ故
ニ、今日ノ如キ業者ノ異——生産形態ノ
狀態ガ左様ナ風デアリマシテハ、到底今後
ト雖モ絲價ノ安定ハ之ヲ望ムコトハ出來ナ

イノデアリマス、即チ本員ハ如上ノ見地ニ
立脚致シマシテ、當局ニ對シテ質問ヲ試
ミ、以テ本案審議ノ上ニ資シタイト思フノ
デアリマス

其第一ハ、原蠶種ハ如何ナル品種ヲ獎勵
シ、如何ナル品種ニ限定セントスル方針デ
アルカ、吾々ノ信ズル所ニ依リマスレバ、
輸出向ノ生絲ト國內向ノ生絲トノ二ツニ區
分ヲ致シマシテ、各、其特長ヲ十分發揮シ、
他ノ纖維ノ追隨ヲ許サル程度ノ原蠶ノ品
種カラ、織物ニ至ル迄ノ生産工程ヲ改善ス
ル必要ガアリト信ズルノデアリマス(拍手)
即チ輸出向ノ生絲ハ、絲質ガ極メテ優良ナ
ル、所謂絲質本位ノ品種ヲ選擇スベキデア
リ、國內向ノ生絲ハ實用價值ニ重キヲ置キ
マシテ、品質ハ多少劣リマシテモ、經濟的
價值ヲ有スル所ノ品種ヲ選擇スルノ必要ガ
アルト信ズルノデアリマス、政府當局ハ品
種ノ將來ニ對シテ、果シテ如何ナル方針ヲ
以テ進マントスルノデアアルカ、第一ニ此點
ヲ承リタイト思フノデアリマス

第二ニハ、蠶繭處理ニ遺憾ナキヲ期スル
目的ヲ以テマシテ、蠶繭ノ國家管理法ヲ爲
メ、近ク蠶繭法ヲ制定セントスルノ意思
アリヤ如何、政府ハ蠶繭取引ノ公正ヲ期ス
ルト共ニ、蠶繭處理ヲ安全ナラシムル爲
メ、乾繭共同保管ヲ助成スルノ目的ヲ以
テ、近ク追加豫算ヲ助成費ヲ増額セラ
ル、ヤニ仄聞ヲ致シテ居ルノデアリマスル
ガ、是レ實ニ機宜ニ適セル處ノ施設ト致シ
マシテ、贊意ヲ表スルニ吝ナラザル者デア
リマスルガ、曩ニ政府ガ執リマシタル所ノ
處置、即チ生絲ノ三割減ニ認可ヲ與ヘタル
出荷制限デアリマスルガ、是ハ生絲ノ價格
ヲ維持スル上ニ於キマシテ、已ムヲ得ザル

結果デアルトハ申シマスルモノ、是ガ爲
ニ國用生絲ニ異常ナル所ノ壓迫ヲ與ヘ、又
蠶種製造者並ニ一般養蠶家ニ異常ノ不安ト
脅威ヲ與フルノ結果ト相成テ居ルノデア
リマス、此脅威ト不安ヲ業者ニ與フルト云フ
コトハ、認可ヲ與ヘラレル當時ニ於テ、豫
知シナケレバナラナイモノデアッタニモ拘
ラズ、政府當局ハ其結果ニ付テ何等ノ用意
ガナカッタト云フコトハ、本員ノ甚ダ遺憾ト
スル所デアリマス(拍手)即チ政府ハ一朝蠶
繭ノ暴落ヲ餘儀ナクセラル、場合ニ於キマ
シテハ、蠶繭ノ買上ヲ爲ス所ノ用意ガアル
ヤ否ヤデアリマス、又蠶繭ノ暴落ヲ豫想致
シマシテ、蠶種掃立ノ制限ヲ爲サントスル
所ノ意思アリヤ、此點ニ關シマシテ政府ト
シテ善處スベキ方策ガアリマスルナラバ、
ソレヲ承リタイト存ズルノデアリマス

第三ニハ、生絲販賣統制機構ノ確立ヲ致
シテ、之ニ關スル法律案ヲ近ク議會ニ提出
スルノ意思アリヤ如何デアリマスルカ、此點
ハ只今加藤君ヨリ御述ニナッタ所ト殆ド一
致致シテ居ルノデアリマシテ、之ニ對スル
所ノ政府ノ答辯ニ付キマシテハ、更ニ今少
シク具體的ニ御答辯アラントラ望ムノデ
アリマス

第四ニハ、生絲並ニ機械ニ關スル研究機
關ヲ新設スルノ意思アリヤ否ヤデアリマ
ス、吾々ハ前段ニ於テ申述ベシタルガ如
ク、輸出向生絲ト國內向ノ生絲トノ區分ヲ
致シマシテ、之ニ適應セル所ノ生産工程ノ
改善ヲ爲スノ必要ガアルト共ニ、一面ニハ
生絲若クハ織物ニ至ル終始一貫セル所ノ研
究機關ヲ設置致シマシテ、人絹、羊毛「レー
ヨン」等ニ對抗シ得ラレル品質の本位ト、經濟
的價值ノアル方面ニ、一歩々々先ヘ——ト進

出スベキ研究ヲ爲スノ必要ヲ痛感スル者デアリマスルガ、政府ハ舊來ノ面目ヲ一新致シマシテ新規用途ニ對スル萬全ノ策ヲ施サントスルノ意思アリヤ如何デアリマス

第五ニハ、蠶絲業ニ對スル特殊ノ金融機關設置ノ意思アリヤ如何デアリマス、貿易ノ大宗デアリ、而モ我國經濟ノ大部分ヲ占メテ居リマスル所ノ蠶絲業ニ對シ、特殊ノ金融機關ノ無イコトハ甚ダ遺憾トスル所デアリマシテ、業者側ニ依リマシテ、年々歳々應急低利資金、若クハ購繭資金ノ融通ヲ政府ニ要望シ來テ居ルノデアリマスルガ、是ハ特殊金融機關ノ缺如セル結果デアリマサルカラシテ、出來得ベクンバ此場合ニ於キマシテ、官民合同ノ金融機關ノ設置ヲ要望スル者デアリマスルガ、政府ノ所見ハ如何デアリマスカ、若シ然ラザレバ今後益、應急資金或ハ購繭資金等ノ要求ハ、政府ニ殺到スルニ至ルコトハ想像ニ難クナイノデアリマス、此點ニ付キマシテ、之ニ對スル方策ガアリマスルナラバ、此場合ニ承テ置キタイノデアリマス

第六ニ、蠶絲業ニ關スル所ノ教育施設ヲ擴大致シマシテ、其内容ヲ改メ、更ニ絹織物ニ關スル所ノ課程ヲ教育ノ上ニ加ヘルノ必要ガアルト思フノデアリマスルガ、之ニ對シテ政府ノ方針ハ如何デアリマスカ、吾々ヲシテ率直ニ言ハシメマスレバ、現行ノ蠶絲業ニ關スル所ノ教育機關ハ主トシテ蠶種、養蠶、製絲ノ方面ニノミ課程ヲ設ケテ、生絲ノ用途タル織物ノ纖維工業ノ方面ニハ甚ダ無關心ノヤウデアアルノデアリマス、今後ノ教育方針ト致シマシテハ、絹織物及ビ染色方面ニ考慮ヲ致シテ之ヲ加ヘルノ必要ガアルト信ズルノデアリマスルガ、

政府ノ所見ハ如何デアリマスカ

第七ニ、政府ハ絹織物稅ノ撤廢ノ意思アリヤ如何デアリマスルガ、是モ加藤君カラ質問ヲサレテ居リマスルカラ、此事ハ省略ヲ致シテ置キマス

第八ニ、蠶種課稅撤廢ニ對スル所ノ政府ノ方針如何デアリマス、仄聞スル所ニ依リマスレバ、靜岡縣ニ於キマシテハ、新財源ノ一ト致シマシテ、蠶種ニ課稅ヲ爲スノ舉ニ出デテ、是ガ爲ニ蠶種業關係者ヨリ、農産物ノ種子ニ對シテ課稅ヲスルト云フガ如キコトハ、恰モ沒落ノ運命ニ拍車ヲ掛ケルガ如キ状態デアアルノデアリマスルカラ、是レ即チ近來ノ最大惡稅ナリト致シマシテ、反對ノ聲ヲ舉ゲツ、アルノデアリマスルガ、今ヤ農村負擔ノ均衡ハ盛ニ論議ヲ致サル、此際ニ於キマシテ、斯ル惡稅ヲ起シテ、更ニ農村ニ重壓ヲ加ヘントスルガ如キコトガアレバ、決シテ見遁スベカラザル所ノ重大問題ダト本員ハ信ズルノデアリマス(拍手)政府ハ即チ關係當局ハ、之ニ對シテ如何ナル考ヲ持テ居ラレルノデアリマスルカ、即チ此蠶種ノ課稅ヲ撤廢スルト云フ方針デアアルカ否ヤヲ承テ置ク必要ガアルト信ズルノデアリマス

以上ノ諸點ハ本案審議ノ上ニ於キマシテ、政府ノ意見竝ニ方針ヲ質シテ置ク必要ガアリマスルカラ、若シ本日ノ場合ニ於キマシテ、御答辯ガ出來ナイヤウデアリマスルナラバ、委員會ニ於キマシテ、詳細ニ是等ノ點ニ付テ御答辯アランコトヲ要望致ス次第デアリマス(贊成)「贊成」ト呼フ者アリ(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ

付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○青木雷三郎君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成」贊成)ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 青木君提出ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會

午後五時四十六分散會

衆議院議事速記録第十號中正誤

頁 段 行 誤 正 實
一九一 一一 守實 守實